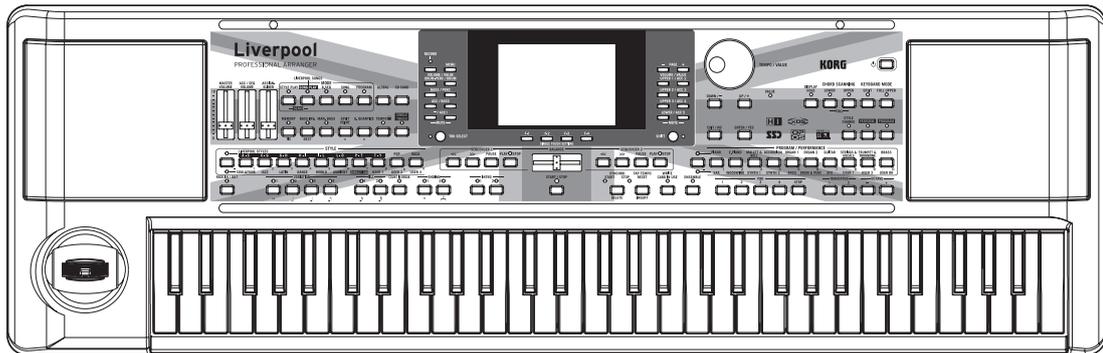


# Liverpool

## PROFESSIONAL ARRANGER

### クイック・スタート・ガイド



## Styles

### LIVERPOOL STYLES

#### A - C

Across Univ  
All I've Got  
All My Loving  
And I Love Her  
And Your Bird  
Back In USSR  
Ballad John  
Can't Buy Me

#### C - G

Carry Weight  
Come Together  
Day Tripper  
Don't Let Me  
Drive My Car  
Eight Days  
Get Back  
Getting Better

#### G - H

Girl  
Got To Get You  
A Hard Day's  
Hello Goodbye  
Help!  
Helter Skelt  
Here There  
Hey Jude

#### H - I

Honey Pie  
I'm The Walrus  
I Feel Fine  
I Want You  
I Should Have  
I Will  
If I Fell  
I'm Down

#### I - L

I'm So Tired  
In My Life  
It Won't Be  
I've Just Seen  
I've Got a Feel  
Lady Madonna  
Let It Be  
Long and Windy

#### L - O

Lovely Rita  
Maxwell's  
Michelle  
Night Before  
No Reply  
Nowhere Man  
Ob-La-Di  
Oh! Darling

#### P - T

Paperback  
Penny Lane  
Revolution  
Sexy Sadie  
Sgt. Pepper  
She Came In  
Tell Me Why  
Things We Say

#### T - Y

Ticket To Ride  
We Can Work It  
When I'm 64  
With A Little  
Yellow Sub  
You Can't Do  
You're Mother  
You're Going

#### POP

Soft Beat  
Pop Beat  
Unplug 8Bt  
UK 8 Beat  
Pop Ballad 1  
Classic Beat  
Guitar Bld  
8Bt Analog  
  
Analogyst  
Standard 8beat  
Trendy Beat  
Slow Ballad  
6 Strings Bt  
Std 16Beat  
Pop 16Beat  
Cinema Bld

#### ROCK

Open Rock 1  
Open Rock 2  
Pop Rock  
Fire Rock  
Hard Rock  
Heavy Rock  
Rock Shuffle  
Rock Ballad  
  
Half Time  
Rock 6/8  
Abbey Road  
Surf Rock  
Pop Shuffle 1  
Blues Shuffl  
60's Rock  
Rock & Roll

#### SOUL & FUNK

Rubber Funk  
Groove Funk  
Acid Jazz 1  
Double Beat  
Groove  
Jazz Funk 1  
Al Swing  
Hip Hop Funk 1

#### JAZZ

Jazz Brush  
Med. Swing  
Slow Swing  
Jazz Waltz  
5/4 Swing  
Be Bop  
Unpl. Swing  
Big Band  
  
Fast Big Band  
Latin Big Bnd  
Big Bnd Fox  
Fusion  
Ragtime Pno  
Dixieland  
Hollywood  
Broadway

#### LATIN

Unplug Bossa  
Disco Cha Cha  
Beguine  
Mambo  
Salsa  
Disco Samba  
Merengue  
Cumbia  
  
Rumba  
Gypsy  
Engl. Tango  
Latin Rock  
Calypso  
Lambada  
Meneito  
Macarena

#### DANCE

House Garage  
House  
Dream  
Techno  
Underground  
Progressive  
Jungle  
Rap  
  
Hip Hop  
Disco 70  
80's Dance  
Love Disco  
Disco Party  
Disco Funky  
Disco Gully  
Twist

#### WORLD

Oberkr Waltz  
Oberkr Polka  
Cajun  
Zydeco  
Bluegrass  
Country 3/4  
Orleans  
Jig  
  
Norteno  
Quebradita  
Tejano  
Tarantella  
Vahde  
Oriental  
Roman  
Ciftetelli

#### AMBIENT

New Age  
Color Beat  
8Bt Analog 2  
8Beat Groove  
Windy Beat  
Groove Bld  
16Bt Analog 1  
16Bt Analog 2  
  
Fusion  
Acid Jazz  
Natural Beat  
Unplug Latin  
Celtic Dream  
Classic 3/4  
Minuetto  
Baroque

#### DIRECT SD



#### USER 1

Foxtrot 3  
Hully Gully  
Mazurka 3  
Polka 3  
It. Valzer 2  
Slow Waltz 3  
Trad. Bolero  
New Beguine  
  
Schlager Mx 1  
Schlager Mx 2  
Dance Mix  
Soca Dance  
60's Dance  
70's Disco  
Motown 2  
Dance 80

#### USER 2

16Beat John  
8 Beat John  
2Bt Country  
Bajon  
Ipanema  
Sanba De Sol  
Ricky  
Mambo 99  
  
Pop Shuffle 2  
Front Beat  
Long Train  
2000 Hits  
Questions  
8Beat Rock 1  
8Beat Rock 2  
L.A. R & B

#### USER 3

Soul 2  
Boston Boy  
6/8 Jazz Pop  
J-Pop  
Hip Hop Funk 2  
Schuffie  
Jazz Funk 2  
Blues  
  
6/8 Swing  
The Avalon  
6/8 R & B  
Groovin'  
90's Funk  
Party Funk  
6/8 Blues  
Fusion Funk

# KORG

# 安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

## 火災・感電・人身障害の危険を防止するには

### 図記号の例

|  |  |
|--|--|
|  | △記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。        |
|  | ⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。           |
|  | ●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。 |

以下の指示を守ってください

## 警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります

-  ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
-  ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。
-  本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。
-  次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
  - ACアダプターが破損したとき
  - 異物が内部に入ったとき
  - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、お客様相談窓口へ依頼してください。
-  本製品を分解したり改造したりしない。
-  修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
-  ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。  
コードが破損し、感電や火災の原因になります。
-  大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。  
大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
-  本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。

- ・ 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- ・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



・ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



・ 雨天時の野外のように、湿気が多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。

・ 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。

・ 本製品に液体をこぼさない。



・ 濡れた手で本製品を使用しない。

## 注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。

・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。  
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。  
本製品をテレビ等の横に設置すると、本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因となります。

・ 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。

・ ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



・ 長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。



・ 付属のACアダプターは他の電気機器で使用しない。  
付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器では使用できません。

・ 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。  
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。

・ スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。  
故障の原因になります。

・ 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。

・ 不安定な場所に置かない。  
本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

・ 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。  
本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

・ 本製品の隙間に指などを入れない。  
お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

## LCD ディスプレイについて

本製品の LCD ディスプレイは、非常に高い技術で作られた精密機器であり、品質には十分に注意を払っておりますが、次の内容については、LCD ディスプレイの特性から生じる状態であり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- ・ 画面の一部に黒点(点灯しない点)や輝点(常に点灯する点)がある。
- ・ 表示内容によっては、画面の明るさにムラが生じる。
- ・ 表示内容によっては、横縞の陰が見える。
- ・ 表示内容によっては、ちらつきやモアレを生じる。

## データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがありますので、大切なデータはバックアップをとってください。またデータの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 著作権について

著作権者から許諾を得ていない著作物を、個人、家庭内、またはその他のこれに準ずる限られた範囲以外で使用した場合、著作権侵害となり、損害賠償を含む補償を負う場合があります。そのような著作物を録音したものはもちろん、著作物に手を加えて作られたものにも、著作権者の権利が含まれていますので、これら成果物の転載、配信などは、著作権侵害となります。著作権侵害によって発生した損害賠償などは、当社は一切の責任を負いかねます。使用者自身の権利について不明確なときは、法律の専門家に相談してください。

\* すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 目次

|  |    |
|--|----|
| はじめに .....   | 1  |
| ネットワーク・リンク .....                                   | 1  |
| 取扱説明書について .....                                    | 1  |
| スタート・アップ .....                                     | 1  |
| AC アダプター、電源コードの接続 .....                            | 1  |
| 電源を入れる、切る .....                                    | 1  |
| ボリューム(MASTER、ACC/SEQ、ASSIGN. SLIDER)のコントロール .....  | 2  |
| [BALANCE] スライダー .....                              | 2  |
| ヘッドホン端子 .....                                      | 2  |
| オーディオ出力 .....                                      | 2  |
| オーディオ入力 .....                                      | 2  |
| MIDI 接続 .....                                      | 2  |
| ダンパー・ペダル .....                                     | 2  |
| デモ・ソング .....                                       | 2  |
| 譜面立て .....   | 2  |
| フロント・パネル .....                                     | 3  |
| 画面とユーザー・インターフェース .....                             | 9  |
| 画面操作 .....   | 9  |
| インターフェースの構造 .....                                  | 10 |
| メッセージ・ウィンドウ .....                                  | 11 |
| 記号とアイコン .....                                      | 11 |
| グレー表示のパラメーター .....                                 | 11 |
| リア・パネル .....                                       | 11 |
| 基本操作 .....   | 12 |
| キーボード上での演奏 .....                                   | 12 |
| トラックの選択、<br>ミュート設定と解除、ソロ設定と解除 .....                | 12 |
| パフォーマンスの選択 .....                                   | 12 |
| プログラムの選択 .....                                     | 13 |
| スタイルの選択 .....                                      | 13 |
| シングル・タッチ・セッティング(STS)の選択 .....                      | 14 |
| キーボード・トラックの一括変更 .....                              | 14 |
| スタイル、パフォーマンス、プログラムの入った<br>元のバンクを表示させるショートカット ..... | 14 |
| チュートリアル .....                                      | 14 |
| スタイルの演奏(自動伴奏) .....                                | 14 |
| リアルタイム演奏(自動伴奏なしの演奏) .....                          | 15 |
| ソングの録音<br>(スタイルとリアルタイム演奏を同時に録音) .....              | 17 |
| ソングの再生 .....                                       | 18 |
| 主な仕様 .....   | 19 |
| 内蔵ソング .....  | 20 |

## 1. はじめに

コルグ・プロフェッショナル・アレンジャーLiverpoolをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機はイメージに合ったスタイルを選び、コードを弾くと高品位なバンド演奏が生成されるので、あとはメロディを弾くだけで簡単にオリジナル・ソングができる作曲支援に最適なキーボードです。

### ネットワーク・リンク

コルグでは、本機の情報を以下のサイトで提供しています。

オペレーティング・システムの最新版やさまざまなシステム・ファイル（たとえば、ファクトリー・データのバックアップなど）は、以下のサイトにあります。

<http://www.korgpa.com/>

このサイトは、英語で表示されます。お問い合わせするときも英語のみになりますので、ご了承ください。また、このサイトには日本未発売の製品情報も含まれています。

英文の取扱説明書のPDFは、上記のサイトからダウンロードすることができます。

### 取扱説明書について

取扱説明書は、本紙「クイック・スタート・ガイド」と付属のアクセサリ・ディスクに含まれるさらに詳しいPDFの取扱説明書があります。

PDFの取扱説明書は、次の3つのセクションに分かれています。

- **Basic Guide:** 操作方法をひとつと説明した、実践的なガイドです。
- **Reference Guide:** 各ページ画面とパラメーターについて詳しく説明しています。
- **Appendix:** データ・リストやトラブル・シューティングなど役立つ情報が載っています。

クイック・スタート・ガイドやPDFの取扱説明書では、以下のような省略マークが使われています。

- ▶ **PERF** “WRITE” ボタンを使用して、パフォーマンスに保存できるパラメーターです。
- ▶ **STYLE** “WRITE” ボタンを使用して、現在のスタイル・パフォーマンスに保存できるパラメーターです。
- ▶ **STS** “WRITE” ボタンを使用して、Single Touch Setting に保存できるパラメーターです。
- ▶ **GBL** Global Edit モードでの設定時に [WRITE] キーを押して、グローバル設定に保存できるパラメーターです。

## 2. スタート・アップ

### AC アダプター、電源コードの接続

1. 付属の AC アダプターを本機リア・パネルの [DC 12V] 端子に接続します。

**Note:** ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。他のACアダプターを使用した場合、故障などの原因となります。

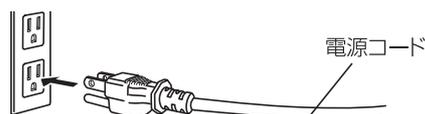
2. コンセントに AC アダプターの電源コードを接続します。感電と機器の損傷を防ぐために、アース接続を確実に行ってください。

**Note:** 電源は必ず AC100V を使用してください。

#### 接地極付きコンセントに接続する場合

接地極付きコンセントに AC アダプター用電源コードのプラグをそのまま差し込んでください。

接地極付きコンセント

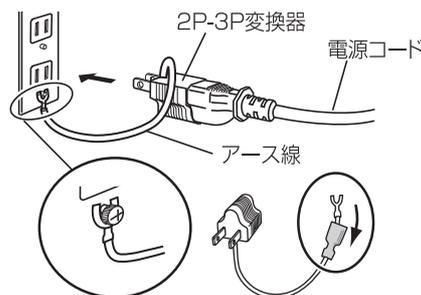


#### アース端子付きコンセントに接続する場合

AC アダプター用電源コードのプラグに、2P-3P 変換器を取り付けます。そして、コンセントのアース端子にアース線を接続し、2P-3P 変換器のプラグを差し込みます。

**警告:** アース接続は、コンセントにプラグを差し込む前に行ってください。また、アース接続を外すときは、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

アース端子付きコンセント



2P-3P 変換器のアース線の U 字端子にカバーが付いている場合は、カバーをはずして使用してください。

### 電源を入れる、切る

#### 電源を入れる

- フロント・パネル右上にある電源キー (⏻) を押します。LCD 画面には起動時の画面が表示され、しばらくすると Style Play モードのメイン・ページの表示に変わり、音が出る状態になります。

#### 電源を切る

- フロント・パネル右上にある電源キー (⏻) を押して本機の電源をオフにします。

**Warning:** 本機の電源をオフにすると、RAM 内のすべてのデータ（ソング編集データ）は消えてしまいます。

SSD メモリーに含まれるデータ（ファクトリー・データ、User データ）とサンプルは保存されます。

 **CARD IN USE** インジケーターが点灯中は、絶対に電源を切らないでください。

## オート・パワー・オフ機能について

本機は工場出荷時の設定で4時間以上鍵盤を弾かない場合や、本体のボタンを操作しないと、自動的に電源が切れます。この機能は解除(No)にすることもできます。

ソングやデモ・ソングの再生のみで4時間経過した場合も、自動的に電源が切れます。

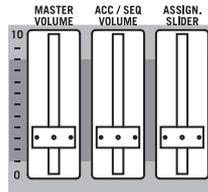
機能を切り替えるには、[GLOBAL]キーを押してGLOBALモードに入り、Page1-Gen. Controlsページで設定します。

## ボリューム(MASTER、ACC/SEQ、ASSIGN、SLIDER)のコントロール

- [MASTER VOLUME] スライダーで本機の全体の音量を調節します。このスライダーは、内蔵スピーカー、出力端子(OUTPUT)、そしてヘッドホン端子(PHONES)の音量を調節します。

**Note:** まず、中程度のレベルから調節を始めてください。徐々に[MASTER VOLUME]スライダーを上げます。大きな音量で長い時間使用しないでください。

- [ACC/SEQ VOLUME] スライダーでスタイル・トラック(ドラム、パーカッション、ベースなど)の音量を調節します。このスライダーは、キーボード・トラックには影響せず、2つのシーケンサー・トラックを調節します。
- 初期設定では、[ASSIGN. SLIDER]でキーボード・トラックの音量を調節します。このスライダーの機能はユーザーが設定できますが(ユーザー・アサイン可能)、初期設定では Keyboard Expression パラメーターに割り当てられています。



## [BALANCE]スライダー

2つの内蔵シーケンサー(Sequencer 1、Sequencer 2)の音量バランスを調節します。ソングの連続演奏で切り替わり時の音量調整が可能です。

- スライダーを一番左側に移動すると、Sequencer 1が最大レベルに、Sequencer 2が0になります。
- スライダーを一番右側に移動すると、Sequencer 1が0に、Sequencer 2が最大レベルになります。
- 中央の位置では、2つのシーケンサーの音量が同じレベルになります。

**Note:** 本機の電源をオンにするときは、ソングが小さな音量で始まらないように、このスライダーを中央の位置にします。

## ヘッドホン端子

本機リア・パネルのヘッドホン端子(PHONES:ステレオ・ミニ)にヘッドホンを接続します。16~200Ω(50Ω推奨)のインピーダンスのヘッドホンが使えます。

## オーディオ出力

本機のサウンドを、内蔵スピーカーの代わりに外部アンプ・システムから出力することができます。レコーディングやライブ演奏時に便利なセットアップです。

## オーディオ入力

他の電子楽器や、パワード・タイプではないミキサーからの出力、音響製品の出力などを本機リアパネルの入力端子(INPUT:ステレオ・ミニ)に接続します。ライン・レベルの入力端子ですので、マイクロホンに接続するには、専用のマイク・プリアンプかミキサーが必要です。

接続した機器のボリューム・コントロールで、本機への入力レベルを調節します。入力信号に歪み(クリッピング)が生じないように注意してください。以下の要領で接続機器の音量を調節します。

- 本機から出力されるサウンドの音量が低い場合は、接続機器の出力レベルを上げてください。
- サウンドに問題なければ調節する必要はありません。
- 歪んだサウンドが聞こえる場合は、歪みが聞こえなくなるまで接続機器の出力レベルを下げてください。

## MIDI 接続

本機に接続したマスター・キーボード、MIDIギター、ウィンド・コントローラー、MIDIアコーディオン、デジタル・ピアノなどの外部MIDI機器から、本機のサウンドを鳴らすことができます。

1. 外部MIDI機器のMIDI OUT端子と本機のMIDI IN端子を、標準のMIDIケーブルで接続します。
2. MIDI機器のMIDI送信チャンネルを選択します。MIDIアコーディオンなど、MIDI楽器によっては複数チャンネルを使用して送信する機器もあります。
3. 本機上で、接続MIDI機器に一番適したMIDIセットアップを選択します。

## ダンパー・ペダル

リア・パネルのDAMPER端子に、ダンパー(サスティン)・ペダルを接続します。コルグPS-1/PS-3ペダル・スイッチ、または同等のものをお使いください。

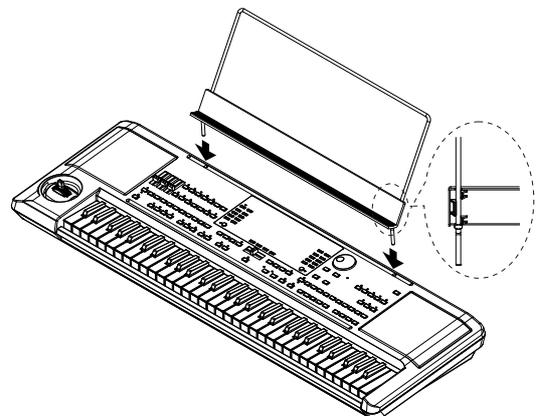
## デモ・ソング

本機の音楽的表現力を理解いただくために内蔵のデモ・ソングをお聴きください。

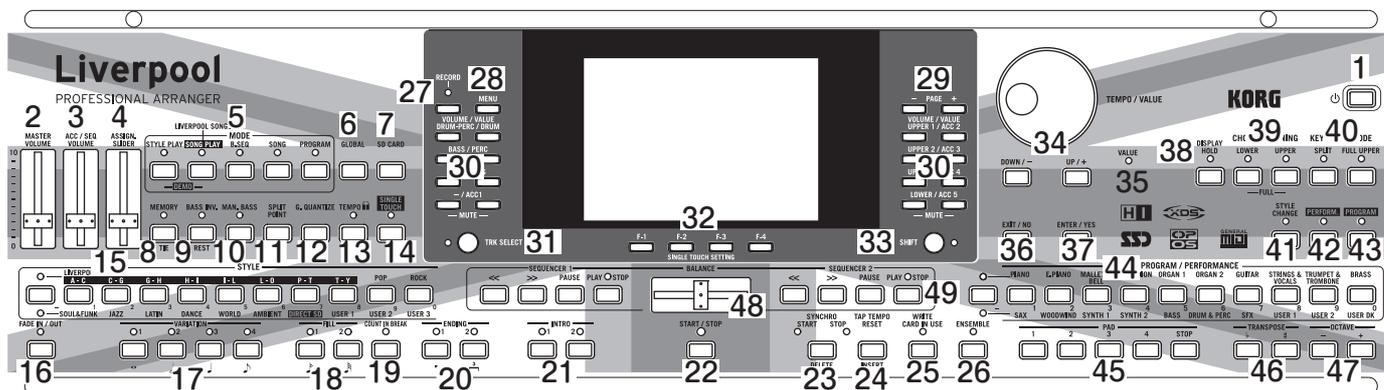
1. [STYLE PLAY]キーと[SONG PLAY]キーを同時に押します。それぞれのキーのインジケーターが点滅します。  
この時点でキーを何も押さないと、すべてのデモ・ソングが再生されます。
2. [PAGE - / +]キーで、デモ・モードのページを選択します。
3. VOLUME/VALUEキー[A]~[H]の中から、画面表示に合わせて聴きたいデモ・ソングに該当するキーを押します。  
該当のデモ・ソングが自動再生されます。
4. [START/STOP]キーを押してデモ・ソングの再生を止めます。
5. MODEセクションの任意のキーを押すとデモ・モードは終了します。

## 譜面立て

本機には譜面立てが付属されています。譜面立ての足の部分をフロント・パネルの2つの穴に差し込んでください。



## 3. フロント・パネル



### 1. 電源キー(⏻)

キーを押すたびに本機の電源を入れる、または切れます。

### 2. [MASTER VOLUME]スライダ

本機の全体的な音量を調整します。内蔵スピーカー、L/MONO、RIGHT出力端子とヘッドホン端子から出力する音量を調整します。

**Warning:** 音量の豊かなソング、スタイル、あるいはプログラムで信号のレベルが大きい場合、最大レベルで内蔵スピーカーの音が歪むことがあります。このようなときは[MASTER VOLUME]を少し下げてください。

### 3. [ACC/SEQ VOLUME]スライダ

伴奏トラックの音量(Style Playモード)、あるいはリアルタイム(キーボード)・トラックを除くソング・トラックの音量(Song、Song Playモード)を調整します。これは相対的な音量コントロールで、実質的な最大値は[MASTER VOLUME]スライダの位置によって決まります。

### 4. [ASSIGN. SLIDER]キー

自在にプログラムできるスライダです。初期設定ではキーボード・エクスペッション・コントロールとして、リアルタイム(キーボード)・トラックの相対的な音量バランスを調節します。

### 5. [MODE]キー

本機の操作モードを呼び出します。選択すると他のモードは無効になります。

**STYLE PLAY** Style Playモードに入ります。スタイル(自動伴奏)の演奏、および音色まで割り当て可能な最大4つのリアルタイム(キーボード)トラックが鍵盤で演奏できます。

リアルタイム(キーボード)・トラックは、メインページの右半分に表示されます。このメインページを表示するには、Style Playモードの任意のページで[EXIT/NO]キーを押します。別のモードが選択されているときは、[STYLE PLAY]キーを押すと Style Playモードに入ります。[TRK.SELECT]キーのLEDが点灯している場合は、[TRK.SELECT]キーを押してLEDを消灯させるとリアルタイム・トラックが表示されます。

本機の電源を入れると、このStyle Playモードが自動的に選択されます。

**SONG PLAY** Song Playモードに入ります。16トラックのスタンダード MIDI ファイル(SMF)、“.MID”、あるいは“.KAR”のファイルを、内蔵メモリー(SSD)やSDカードから(内部メモリーに読み込ませず)直接再生できます。本機は2つのシーケンサーを搭載しており、2つのソングを同時に再生し、それを[BALANCE]スライダでミックスすることができます。

ソングトラックの他に、1～4つのリアルタイム(キーボード)・トラックをソングに合わせて再生できます。リアルタイム(キーボード)・トラックは、メインページの右半分に表示されます。このメインページを表示するには、Song Playモードの任意のページで[EXIT/NO]キーを押します。別のモードが選択されているときは、[SONG PLAY]キーを押して Song Playモードに入ります。[TRK.SELECT]キーのLEDが点灯または点滅している場合は、[TRK.SELECT]キーを1回または2回押してLEDを消灯させるとリアルタイム・トラックが表示されます。

**B.SEQ** Backing Sequenceモードに入ります。リアルタイム・トラックやスタイル・トラックをベースにして新しいソングを録音したり、新規のスタンダード MIDI ファイルとして保存できます。

**SONG** Songモードに入ります。ソングの再生、録音、編集ができます。

**PROGRAM** Programモードに入ります。キーボード上で個々のサウンド・プログラムを再生、編集します。

**DEMO** [STYLE PLAY]と[SONG PLAY]の2つのキーを同時に押してデモモードを選択します。このモードでは本機が持つ音楽表現力を理解いただくためのデモ・ソングを再生します。

### 6. [GLOBAL]キー

さまざまなグローバル設定を行うGlobal Editモードを呼び出します。このGlobal Editモードは、動作中の操作モード画面の上にオーバーラップして表示されます。[EXIT/NO]キーを押すと、操作モード画面に戻ります。

### 7. [SD CARD]キー

ファイルやSDカードのさまざまな操作(ロード、セーブ、フォーマットなど)を行うCard Editモードを呼び出します。このCard Editモードは、動作中の操作モード画面の上にオーバーラップして表示されます。[EXIT/NO]キーを押すと、操作モード画面に戻ります。

## 8. [MEMORY (TIE)]キー

Lowerとコード・メモリー機能を、オンまたはオフにします。このキーの状態とMemory Mode(Style Playモードのメニュー画面、page 24 - Pref: Ctl (Gbl))の設定の組み合わせによって、動作が異なります。

たとえばMemory Modeで“Chord + Lower”を選択した場合:

**オン** 次の音またはコードを弾くまでの間、スプリット・ポイントより左の音、そして自動伴奏のコードは、鍵盤から指を離してもメモリーに保存されます。

**オフ** 鍵盤から指を離すと同時に、音とコードは解除されます。

▶このキーはSongモードの[TIE]キーとしても使用します。

## 9. [BASS INV. (REST)]キー

ベースの転回機能をオンまたはオフにします。

**オン** 転回されたコードの最低音(押さえたコードの中で一番低い音)をコードのルート(根音)として常に検知します。アレンジャーに Am7/G や F/C のような複合コードを指定することができます。

**オフ** 最低音は他のコードの音と共に読み込まれますが、常にルート(根音)とは見なされません。

▶このキーはSongモードの[REST]キーとしても使用します。

## 10. [MAN. BASS]キー

マニュアル・ベース機能をオンまたはオフにします。

**Note:** [MAN. BASS]キーを押すと、ベース・トラックの音量が自動的に最大になります。[MAN. BASS]キーをオフにすると、ベース・トラックの音量が元の音量に戻ります。

**オン** ドラムとパーカッション・トラックを除く自動伴奏の演奏が止まり、鍵盤のLower部分でベース・トラックをプレイできます。[CHORD SCANNING]セクションの[LOWER]キーを押すと、自動伴奏が再スタートします。

**オフ** スタイルによるベース・トラックが自動的に再生されます。

## 11. [SPLIT POINT(<)]キー

▶GBL

このキーを押したままにすると、Split Pointウィンドウが開きます。このウィンドウが開いている間にキーボード上でスプリット・ポイントにしたい鍵盤を弾くと、そのスプリット・ポイントが設定されます。設定できたら、[SPLIT POINT(<)]キーを離します。

選択したスプリット・ポイントの音符を保存するには、[GLOBAL]キーを押してから[WRITE]キーを押して、グローバル設定をメモリーに保存します。

▶このキーは、Backing SequenceモードとSongモードで[<]キー(1つ前のイベント選択)としても使用します。

## 12. [G.QUANTIZE(>)]キー

このキーを押すと、グルーヴ・クオンタイズ(Groove Quantize)ウィンドウが開きます。ソング(シーケンサー1のみ)に適用するリアルタイム・グルーヴの分解能(クオンタイゼーション)を選択できます。

▶このキーは、Backing SequenceモードとSongモードで[>]キー(1つ後のイベント選択)としても使用します。

## 13. [TEMPO] (テンポ・ロック)キー

テンポ・ロック機能をオンまたはオフにします。

**オン** 異なるスタイルやパフォーマンスを選択してもテンポは変わりません。ダイヤルや[TEMPO]キーを使ってマニュアルでテンポの調節もできます。

**オフ** 異なるスタイルやパフォーマンスを選択すると、それに設定されているテンポ値が自動的に選択されます。

## 14. [SINGLE TOUCH]キー

シングル・タッチ機能をオンまたはオフにします。

**オン** 任意のスタイルを選択すると、シングル・タッチ・セッティング(STS1)が自動選択され、そのスタイルのトラックやエフェクトと一緒にリアルタイム・トラック、エフェクトが変わります。

**オフ** 任意のスタイルを選択すると、そのスタイルのトラックやエフェクトを変更しても、リアルタイム・トラックは変わりません。

## 15. STYLE セクション(テンキー)

このセクションにあるキーを使ってスタイル選択(Style Selection)ウィンドウを開き、スタイルを選択します。詳細は、P.13「スタイルの選択」を参照してください。

左端のキーを繰り返し押しして、スタイル・バンクを選択します。

**上のLEDが点灯**

上列のスタイルが選択されます。

**下のLEDが点灯**

下列のスタイルが選択されます。

**スタイル・バンクと名称について**

[DIRECT SD]スタイルは、SDカード上のスタイルを、メモリーへロードせずにそのまま使えます。

[USER 1]~[USER 3]スタイルには、SDカードから新しいスタイルをロードできます。

スタイル・バンクの各キーには1つ、または2つのページ画面があり、各ページ最大8つのスタイルがあります。[PAGE -/+ ]キーで使用するスタイルを探します。

**スタイルが入っている元のバンクを表示させるショートカット**

スタイルの入っている元のバンクを簡単に表示できます。[SHIFT]キーを押しながら、STYLEセクションの一番左のキーを押します。元のバンク名を表示したメッセージ・ウィンドウが開きます。[SHIFT]キーを離すとウィンドウが閉じます。

**選択したバンクの各ページを表示するショートカット**

選択したバンクのキーを押すたびに、そのバンクの各ページが順に表示されます。

▶STYLEセクションの各キーは、ページによってはテンキーの役割を果たすことがあります。

## 16. [FADE IN/OUT]キー

▶STYLE

スタイルを再生していないとき、このキーを押すと、スタイルはフェード・イン(音量がゼロから最大値に変化)しながら再生を始めます。

スタイルを再生しているとき、このキーを押すと、スタイルはフェード・アウト(音量が徐々に小さくなる)しながら再生を停止します。

スタイルを開始、停止するときに、[START/STOP]キーを押す必要はありません。

## 17. [VARIATION 1 ~ 4]キー

▶PERF ▶STYLE

選択しているスタイルの1~4のバリエーションを選択します。それぞれ1~4のバリエーションはパターンとサウンドが違います。

▶これらのキーは、Songモードの音符の長さを設定するキーとしても使用します。

## 18. [FILL 1 ~ 2]キー

▶PERF ▶STYLE

フィル・インを再生します。キーを2度押す(LEDが点滅)とループ再生し、他のスタイル形式([FILL]、[INTRO]、[VARIATION]など)を選ぶとループは終了します。

▶これらのキーは、Songモードで音符の長さを設定するキーとしても使用します。

## 19. [COUNT IN/BREAK]キー

▶PERF ▶STYLE

スタイルを再生していないときにこのキーを押してから[START/STOP]キーを押すと、先頭に1小節のカウント・インが入り、その後スタイルの再生が始まります。

スタイルがすでに再生中のときにこのキーを押すと、ブレイクが入ります。ブレイクはキックとクラッシュだけが先頭に入った空の1小節です。キーを2度押すと、このブレイクがループ再生され、他のスタイル形式(フィル、イントロ、バリエーションなど)を選択すると、ループを終了します。

## 20. [ENDING 1 ~ 2]キー

▶PERF ▶STYLE

スタイル再生中、このキーでエンディングを再生させスタイルを停止します。このキーを押すと、エンディングに入りスタイルが停止します。スタイル停止中、このキーを押すとイントロの追加として機能します。

キーを2度押すとLEDが点滅し、エンディングをループ再生します。ループを終了するときは、別のスタイル形式([FILL]、[INTRO]、[VARIATION]など)を選びます。

▶Songモードでは、[ENDING1]キーは付点キー、[ENDING2]キーは三連符キーとして使用します。

**Note:** エンディング 1 はコード進行のある短いシーケンス、エンディング 2 は最後に認識されたコードで再生されます。

## 21. [INTRO 1 ~ 2]キー

▶PERF ▶STYLE

アレンジャーをイントロ・モードに設定します。1つを選択してスタイルをスタートさせると、選択したイントロでスタートします。イントロのLEDはイントロの終わりで消灯します。

キーを2度押すとLEDが点滅し、イントロをループ再生します。ループを終了するときは、別のスタイル形式([FILL]、[INTRO]、[VARIATION]など)を選びます。

**Note:** イントロ 1 はコード進行のある短いシーケンス、イントロ 2 は最後に認識されたコードで再生されます。

## 22. [START/STOP]キー

スタイルのプレイをスタート、ストップします。

**[SHIFT]** 本機またはMIDI OUT端子に接続された機器上で、音が鳴りやまないとき、コントローラーをリセットするときに、[START/STOP]キーと[SHIFT]キーとを同時に押します。

## 23. [SYNCHRO START/STOP]キー

シンクロ・スタート、シンクロ・ストップ機能をオンまたはオフにします。繰り返し押すと機能はSTART→START+STOP→OFFに変わり、それに合わせてLEDが点灯します。

## [START]LED 点灯

このLED点灯時、コード検知領域(通常はスプリット・ポイントより低音域側)でコードを弾くと、スタイルが自動的に再生します。コードの認識については、P.7 [[CHORD SCANNING]セクション]を参照してください。

## [START]LED + [STOP]LED 共に点灯

2つのLEDが点灯している状態で、鍵盤から指を離すと、再生しているスタイルが一時的にストップします。再びコードを弾き始めるとスタイルの再生も再スタートします。

## [START]LED + [STOP]LED 共に消灯

シンクロ機能がオフになります。

▶このキーは、Backing Sequenceモード、Songモードでは[DELETE]キーとして使用します。また、テキスト入力時に選択した文字を削除するときにも使います。

## 24. [TAP TEMPO/RESET]キー

このキーはスタイルの状況(Stop/Play)により機能が変わります。

## Tap Tempo

スタイルが再生されていないときは、ビート(拍子)に合わせてこのキーを押し、テンポを決めます。最後に、打ち込んだテンポで伴奏がスタートします。

## RESET

スタイルの再生中にこのキーを押すと、スタイルのパターンが1つ前の強拍に戻ります。

▶このキーは、Backing Sequenceモード、Songモードでは[INSERT]キーとして使用します。また、テキスト入力時にカーソル位置で文字を挿入するときにも使います。

## 25. [WRITE/CARD IN USE]キー

Style Playモードでこのキーを押すと、Writeウィンドウが開きます。このウィンドウではトラックすべてをパフォーマンスに保存したり、リアルタイム(キーボード)・トラックをシングル・タッチ・セッティング(STS)に、また伴奏トラックをスタイル・パフォーマンスに保存したりします。

Global Editモードでこのキーを押すと、グローバル・パラメーターがメモリーに保存されます。

▶このキーのLEDはCARD IN USEインジケーターとしても機能し、カード・スロット使用中に点灯します。

## 26. [ENSEMBLE]キー

▶PERF ▶STS

アンサンブル機能をオンまたはオフにします。オンのときは右鍵盤のメロディーに、左鍵盤で入力したコードに沿ってハーモニーが加わります。

**Note:** アンサンブル機能は、鍵盤が Split モードで Lower Chord Scanning モード設定時のみ動作します。

## 27. [RECORD]キー

Style Playモード時にこのキーを押すと、Style Recordモードへ入ります。

Backing Sequencerモード時にこのキーを押すと、Song Recordモードへ入ります。

## 28. [MENU]キー

現在の操作モードやエディット・モードのメニュー・ページを開きます。メニュー・ページを開いたら、VOLUME/VALUEキーを押して対応するエディット・ページにジャンプしたり、[PAGE - / +]キーで各ページを表示します。操作が済んだら[EXIT/NO]キーを押して、現在の操作モードのメイン・ページに戻るか、エディット・モードを終了します。

各ページがどこにどんな順序で表示されるかについては、各操作モード、エディット・モードをお読みください。

## 29. [PAGE - / +]キー

[MENU]キーでメニュー・ページを表示させたら、このキーで操作モードやエディット・モードのエディット・ページを次々と表示させます。[EXIT/NO]キーを押すと、エディット・ページから、現在の操作モードのメイン・ページへ戻るか、Global EditモードまたはCard Editモードを終了します。

また、スタイル選択(Style Selection)ウィンドウ、プログラム選択(Program Selection)ウィンドウの各ページを選択することもできます。

### 30. VOLUME/VALUE(MUTE)キー [A]～[H]

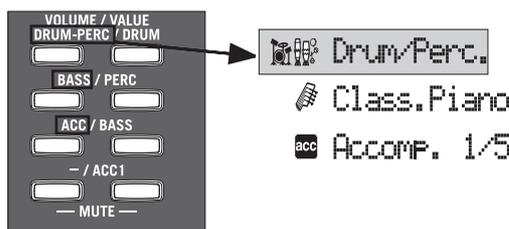
▶PERF ▶STYLE ▶STS

本書ではVOLUME/VALUE(MUTE)セクションで横に並んだ2つのキーをペアとして、それぞれVOLUME/VALUEキー[A]～[H]と呼びます。P.9「画面とユーザー・インターフェース」を参照してください。

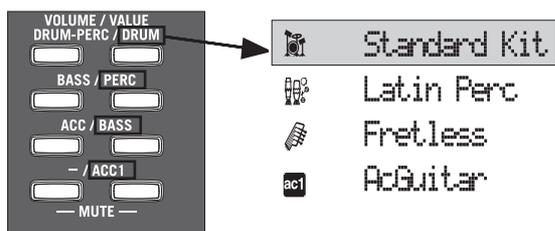


対応するトラック名がVOLUME/VALUEキー[A]～[H]の上に表示されています。これらのキーの名前は、Style Playモードのメイン・ページで表示されるトラックに対応しています。

- VOLUME/VALUE キー[A]～[H]の左側のキーは、メイン・ページで使用し、リアルタイム・トラック、スタイル・トラックがグループに入っています。



- VOLUME/VALUE キー[A]～[H]の右側のキーは、スタイル・トラックのページで使用し、伴奏トラックを表示します。



P.11「記号とアイコン」を参照してください。

これらのキーを使って、画面に表示されるコマンドや機能を実行します。

**項目の選択** 画面上で対応する項目を選択します(例:トラック、パラメーター、コマンドなど)。左右のどちらのキーも同様に使えます。

**音量の調節** 任意のモードのメイン・ページでトラックを選択したら、VOLUME/VALUE キー[A]～[H]でそのトラックの音量を調節します。左のキーで音量を小さく、右のキーで音量を大きくします。

#### ミュート設定、解除

VOLUME/VALUE キーで、左右のキーを同時に押すと、該当トラックがミュートされ、もう一度両方同時に押すと、ミュートが解除されます。

#### SOLO 設定、解除

**[SHIFT]** [SHIFT] スタイル・プレイ、ソング・プレイ、Song モードのいずれかのごとき、トラックの1つをソロにします。[SHIFT]キーを押しながら、ソロにしたいトラックに対応するVOLUME/VALUEキーを押します。ソロ・モードを解除するには、[SHIFT]キーを押しながら、ソロ解除したいトラックに対応するVOLUME/VALUEキーを押します。

#### VALUE(バリュウ)機能

該当するパラメーターの値を変更します。左のキーで値を小さく、右のキーで値を大きくします。

### 31. [TRK.SELECT(Track Select)]キー

選択した操作モードにより、さまざまなトラック・ビュー・モードを切り替えます。

#### STYLE PLAY モード

リアルタイム(キーボード)・トラックとスタイル・トラックを切り替えます。

#### SONG PLAY モード

メイン・ページ(リアルタイム / キーボード・トラック)、ソング・トラック1～8、ソング・トラック9～16を切り替えます。

**SONG モード** メイン・ページ、ソング・トラック1～8、ソング・トラック9～16を切り換えます。

[TRK.SELECT]キーのLEDの状態で、現在のページ・ビューがわかります。

**LED 消灯時** メイン・ページ(リアルタイム・トラックまたはソング・コントロール)

**LED 点灯時** 2 ページ目(スタイル・トラックまたはソング・トラック1～8)

**LED 点滅時** 3 ページ目(ソング・トラック9～16)

### 32. SINGLE TOUCH SETTING

#### [F-1]～[F-4]ファンクション・キー

Style PlayモードまたはBacking Sequenceモードのメイン・ページが表示されているときは、シングル・タッチ・セッティングを選択します。各スタイルには最高4種類のシングル・タッチ・セッティング(STS)が含まれており、1つのキーを押すだけで、リアルタイム・トラックに割り当てられている音色やエフェクトを、自動設定します。[SINGLE TOUCH]キーのLEDが点灯していると、スタイルを選択した時点で自動的にSTSが選ばれます。

▶エディット・モードではファンクション・キーとして機能し、画面上の対応する項目を選択します。

### 33. [SHIFT]キー

このキーを押しながら他の特定のキーを押すと、そのキーの別の機能呼び出すことができます。

### 34. [TEMPO/VALUE]セクション

ダイヤルと[DOWN/ -]、[UP/ +]キーで、テンポのコントロール、LCD画面上で選択したパラメーター値の指定、またSong SelectとCard Editモードのページで、ファイル・リストのスクロールができます。

[VALUE]LEDが点灯してこのセクションのステータスを示します。

**ダイヤル** ダイヤルを時計回りに回して、値やテンポを上げます。反時計回りに回して値やテンポを下げます。

**[SHIFT]** [SHIFT]キーを押しながらこのダイヤルを使うと、テンポのコントロールとしてのみ機能します。

**[DOWN/ -]キー、[UP/ +]キー**

[DOWN/ -]キーは値やテンポを下げ、[UP/ +]キーは値やテンポを上げます。

**[SHIFT]** [SHIFT]キーを押しながらどちらかのキーを押すと、テンポは選択したスタイルに保存されている値にリセットされます。

**35. VALUE LED**

ダイヤル、[DOWN/ -]キー、[UP/ +]キーの機能を表示するインジケータです。

**LED 点灯時** ダイヤル、[DOWN/ -]キー、[UP/ +]キーは画面上で選択されたパラメーターの値を変更します。

**LED 消灯時** ダイヤル、[DOWN/ -]キー、[UP/ +]キーはテンポをコントロールします。

**36. [EXIT/NO]キー**

メッセージに回答したり現在のウィンドウやモードを終了したりします。

- ダイアログ・ボックスを閉じます。
- 画面に表示されたメッセージに対して「いいえ」と答えたいときに押します。
- メニュー・ページを閉じます。
- 現在の操作モードのメイン・ページに戻ります。
- Global Edit モードまたは Card Edit モードを終了し、現在の操作モードのメイン・ページに戻ります。
- スタイル、パフォーマンス、プログラムの各選択ウィンドウを閉じます。

**37. [ENTER/YES]キー**

メッセージに回答したり、現在の選択肢を確定したりします。

- 画面に表示されたメッセージに対して「はい」と答えるときに押します。
- コマンドを確定、実行します。

**38. [DISPLAY HOLD]キー**

ディスプレイ・ホールド機能をオンまたはオフにします。

**オン** プログラム選択 (Program Selection) ウィンドウなどのように、一定時間を経過すると自動的に閉じるウィンドウを開くと、[EXIT/NO]キーを押すか任意の操作モード・キーを押すまでは、ウィンドウが閉じません。

**オフ** 一定時間を経過するか、ウィンドウ内で任意の項目を選択すると、ウィンドウが閉じます。

**39. [CHORD SCANNING]セクション ▶PERF ▶STS**

Style Play、または Backing Sequence モードでは、アレンジャー機能がコードを認識する方法を指定します。

**[LOWER]** コードはスプリット・ポイントより低音域側で検知されます。コードを形成するために必要なノートは、Chord Scanning モードの Chord Recognition パラメーターで指定します。

**[UPPER]** コードはスプリット・ポイントより高音域側で検知されます。アレンジャーにコードを認識させるときは、常に3音以上のノートを弾く必要があります。

**フル(両方の LED が点灯)**

コードは鍵盤全体で検知されます。アレンジャーにコードを認識させるときは、常に3音以上のノートを弾く必要があります。

**オフ(両方の LED が消灯)**

コードの検知はしません。[START/STOP]キーを押すと、ドラムとパーカッション・トラックの伴奏のみが再生されます。

**40. [KEYBOARD MODE]セクション ▶PERF ▶STS**

4つのキーボード(リアルタイム)・トラックを鍵盤上に配置します。

**[SPLIT]** Lower トラックがスプリット・ポイントより低音域を使用し、UPPER 1、UPPER 2、UPPER 3 トラックがスプリット・ポイントより高音域を使用します。初期設定では、このキーボード・モードを選ぶと自動的に Lower Chord Scanning モードが選ばれます。

**[FULL UPPER]**

UPPER 1、UPPER 2、UPPER 3 トラックが鍵盤全体を使用します。Lower トラックは使用しません。初期設定では、このキーボード・モードを選ぶと自動的に Full Chord Scanning モードが選ばれます。

**41. [STYLE CHANGE]キー**

スタイル・チェンジ機能をオンまたはオフにします。

**オン** パフォーマンスを選ぶと、パフォーマンスに保存されているスタイル・ナンバーに従い、スタイルが変更されます。

**オフ** パフォーマンスを選んでも、スタイルとスタイル・トラックの設定は変更されません。リアルタイム(キーボード)・トラックの設定のみが変わります。

**42. PERFORM キー**

このキーを押すと、[PROGRAM/PERFORMANCE]セクションでパフォーマンスを選択できます。

**43. PROGRAM キー**

このキーを押すと、[PROGRAM/PERFORMANCE]セクションでプログラムを選択し、選択中のトラックに割り当てられます。

**44. [PROGRAM/PERFORMANCE]セクション ▶PERF ▶STYLE ▶STS**

これらのキーを使って Program Select、または Performance Select ウィンドウを開き、プログラムまたはパフォーマンスを選択します (P.12「パフォーマンスの選択」、P.13「プログラムの選択」参照)。

左端のキーは上下のプログラム、またはパフォーマンス・バンクの列を選択します。これを繰り返し押して列を選択します。(上下のLEDが順に点灯した後、もう1度このキーを押すと、両方のLEDが消灯します。)

**上の LED が オン**

上の列のプログラム、またはパフォーマンスが選択されます。

**下の LED が オン**

下の列のプログラム、またはパフォーマンスが選択されます。

フロント・パネル上の **プログラム・バンク** は楽器名で、**パフォーマンス・バンク** は番号 (1~10:0=Bank 10) で識別されています。

**プログラム・バンクと名称について**

「PIANO」~「SFX」までは標準のサウンドで、直接変更することはできません。

Program モードでエディットしたサウンドは、「USER 1」、「USER 2」へライトすることができます。また、「USER 1」、「USER 2」のプログラムには、SDカードから新しいプログラムをロードすることができます。

「USER DK」には新しいドラム・キットをロードすることができます。

それぞれのプログラム・バンクは複数のページで構成されており、各ページには最大8つのプログラムがあります。[PAGE -/+ ]キーでページ画面を切り換えます。

#### パフォーマンス、プログラムの入っている元のバンクを表示させるショートカット

パフォーマンスまたはプログラムの入っている元のバンクを簡単に表示できます。[SHIFT]キーを押しながら、PROGRAM/PERFORMANCEセクションの一番左のキーを押します。元のバンク名を表示したメッセージ・ウィンドウが開きます。[SHIFT]キーを離すとウィンドウが閉じます。

#### 選択したバンクの各ページを表示するショートカット

選択したバンクのキーを押すたびに、そのバンクの各ページが順に表示されます。

#### 45. [PAD(1 ~ 4, STOP)]キー

▶PERF ▶STS

プログラム可能なパッドで、サウンド・エフェクトを再生することができます。繰り返し再生されるサウンドを停止するときは、[STOP]キーを押します。

各パッドは、それぞれ1~4のパッド・トラックに対応しています。

#### 46. [TRANSPOSE]キー

▶PERF ▶STYLE

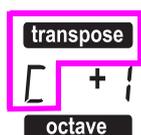
本機全体を半音単位でトランスポーズします(マスター・トランスポーズ、Master Transpose)。トランスポーズの量はLCD画面の右上部に表示されています。

両方のキーを同時に押すとマスター・トランスポーズがゼロになります。

**Note:** マスター・トランスポーズは Drum モードに設定されたトラック(ドラム、パーカッション・トラックを他のモードに変えたとしても)には影響がありません。

[b]                    マスター・トランスポーズを半音下げます。

[#]                    マスター・トランスポーズを半音上げます。



#### 47. [OCTAVE]キー

▶PERF ▶STYLE ▶STS

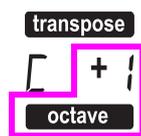
選択したトラックを、1オクターブ単位(12半音、最大2オクターブ)でトランスポーズします。オクターブのトランスポーズ量は、LCD画面の右上部に表示されています。

[-]と[+]キーを両方押すと、オクターブ・トランスポーズがゼロになります。

**Note:** オクターブ・トランスポーズは、Drumモードに設定されたトラック(ドラム、パーカッション・トラックを他のモードに変えたとしても)には影響がありません。

[-]                    選択したトラックを1オクターブ下げます。

[+]                    選択したトラックを1オクターブ上げます。



#### 48. [BALANCE]スライダー

Song Playモードで、内蔵の2つのシーケンサーの音量バランスをとります。スライダー位置が左端にあるときはSEQUENCER 1だけが聞こえ、右端にあるときはSEQUENCER 2だけが聞こえます。中央にあるときは両方のシーケンサーが最大の音量で再生します。

#### 49. [SEQUENCER 1/SEQUENCER 2]

##### トランスポート・コントロール

本機には2つのシーケンサー(SEQUENCER 1、SEQUENCER 2)が搭載されており、それぞれにトランスポート・コントロールがあります。

【<<】、【>>】 巻き戻しと早送りです。ソングの再生中に使うと、前後に移動します。

1度押すとソングの1小節前、または後に移動します。押し続けると、手を離すまでソングをスクロールします。

**[SHIFT]** Jukebox モード(SEQUENCER 1)で、[SHIFT]キーを押しながらこのキーを押すと、Jukebox リストの前後のソングをスクロールします。

【PAUSE】 ソングの現在位置で一時停止します。【PAUSE】キーまたは【PLAY/STOP】キーを押すと、ソングの再生を再開します。

##### 【PLAY/STOP】

現在のソングを再生、停止します。ソングを停止すると、ソング・ポジションが1小節目(ソングの始め)に戻ります。

**[SHIFT]** Song Play モードで、[SHIFT]キーを押しながらこのキーを押すと、2つのシーケンサーが同時にスタートします。

## 4. 画面とユーザー・インターフェース

画面には、本機の現在の状態(ステータス)と、パフォーマンス、エディット・パラメーター類が表示されます。パラメーターの選択は、画面両側のVOLUME/VALUEキー[A]~[H]を使います。また、各画面の

最下行に表示されるコマンドの選択は、[F-1]~[F-4]キーを使います。パラメーターの値を変更するには、VOLUME/VALUEキー[A]~[H]に対応する位置にある左(-)右(+))のキーを使います。



### 画面操作

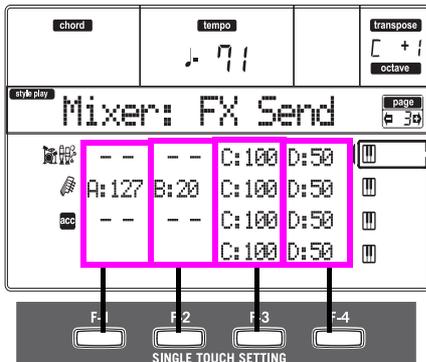
#### VOLUME/VALUE キー[A]~[H]と画面上的パラメーター

これらのキーを使って、その位置に対応する画面上的パラメーターやコマンドを選択したり、パラメーターの値の変更や、該当トラックの音量を変更します。

メイン・ページ表示時には、このキーでトラックを選択したり、トラックの音量の変更、トラックのミュートの設定/解除を行います。P.6[VOLUME/VALUE(MUTE)キー[A]~[H]]を参照してください。

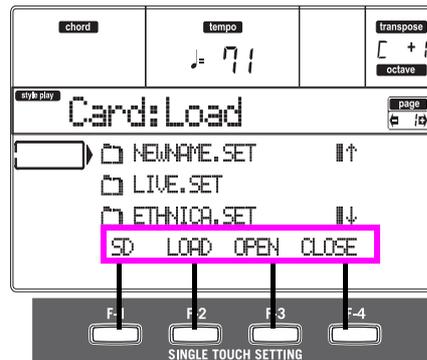
#### [F-1]~[F-4]キー

エディット・ページ表示時に、下の例のように4種類のパラメーターが横に並んでいる場合にこのキーを使います。



まずVOLUME/VALUEキー[A]~[H]で行を選択し、[F-1]~[F-4]キーで列を選択します。

Card Editモードでは、[F-1]~[F-4]キーで、画面最下行のページ・コマンドを選択します。



P.6[SINGLE TOUCH SETTING [F-1]~[F-4]ファンクション・キー]を参照してください。

#### [PAGE - / +]キー

現在表示されているエディット・ページの前後のページを選択します。スタイルまたはプログラムを選択しているときは、スタイルまたはプログラムの別のページを選択します。P.5[PAGE - / +]キー]を参照してください。

#### [MENU]キー

現在の操作モードまたはエディット・モードのメニュー・ページを開きます。メニュー・ページではVOLUME/VALUEキー[A]~[H]で、ジャンプ先のエディット・セクションを選択します。

#### [TRK.SELECT]キー

各操作モードに含まれているトラック数は異なります。

#### Style Play モード

リアルタイム・トラック:4、スタイル・トラック:8、パッド:4

#### Song Play モード

リアルタイム・トラック:4、ソング・トラック:16x2、パッド:4

**Backing Sequence モード**リアルタイム・トラック:4、スタイル・トラック:8、  
パッド:4**Song モード** ソング・トラック:16

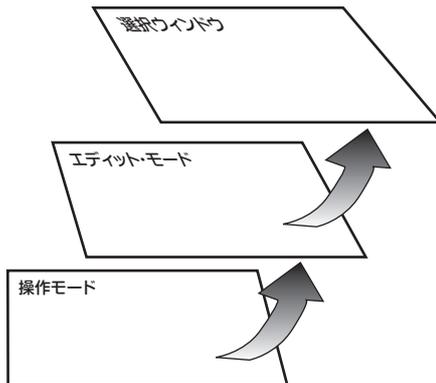
画面では1度に最高8つのトラックまでを表示できます。トラック数がそれ以上ある場合は、[TRK.SELECT]キーで残りのトラックを表示させます。たとえばStyle Playモードでは、このキーを押すと、リアルタイム・トラックとスタイル・トラックの計8つのトラック表示から、残りのトラックの表示に切り替わります。

**インターフェースの構造**

本機の複数機能をコントロールするオペレーティング・システムによって、ユーザー・インターフェースも「階層状」のレイヤー構造になっています。このレイヤーは常にアクティブ(有効)であり、一番下の階層から以下の順で重なっています。

- 操作モード  
(Style Play、Backing Sequence、Song Play、Song、Program)
- エディット・モード  
(Global Edit、Card Edit)
- 選択ウィンドウ  
(Style Selection、Song Selection、Program Selection、Performance Selection)

エディット・モードに入ったり、ページを選択したりしても、現在の操作モードはバックグラウンドで動作しています。

**操作モード**

(下図を参照してください。)一番下の階層である操作モードは常にアクティブ(有効)になっています。

現在の操作モードは、MODEセクションの[STYLE PLAY]、[B.SEQ]、[SONG PLAY]、[SONG]、[PROGRAM]の各キーのインジケータの点灯でわかります。画面上にもそのモードのアイコンが点灯します。

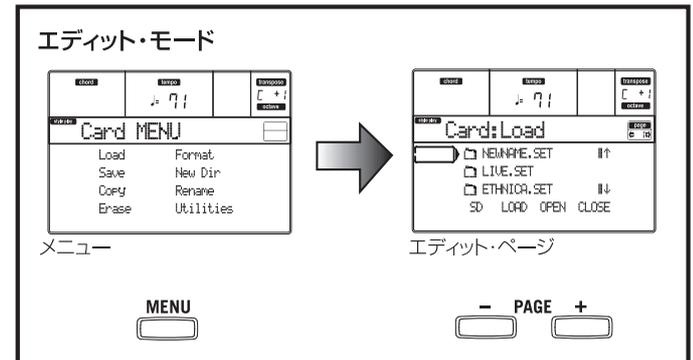
操作モードのインターフェース画面は、メイン・ページ(スタイル、ソング、プログラムなどを再生するページ)、メニュー・ページ、複数のエディット・ページから構成されています。

[MENU]キーを押すとメニューが表示されます。[MENU]キーと[PAGE -/+ ]キーを使って、エディット・ページ間を切り替えます。[EXIT/NO]キーを押すとメイン・ページに戻ります。

**エディット・モード**

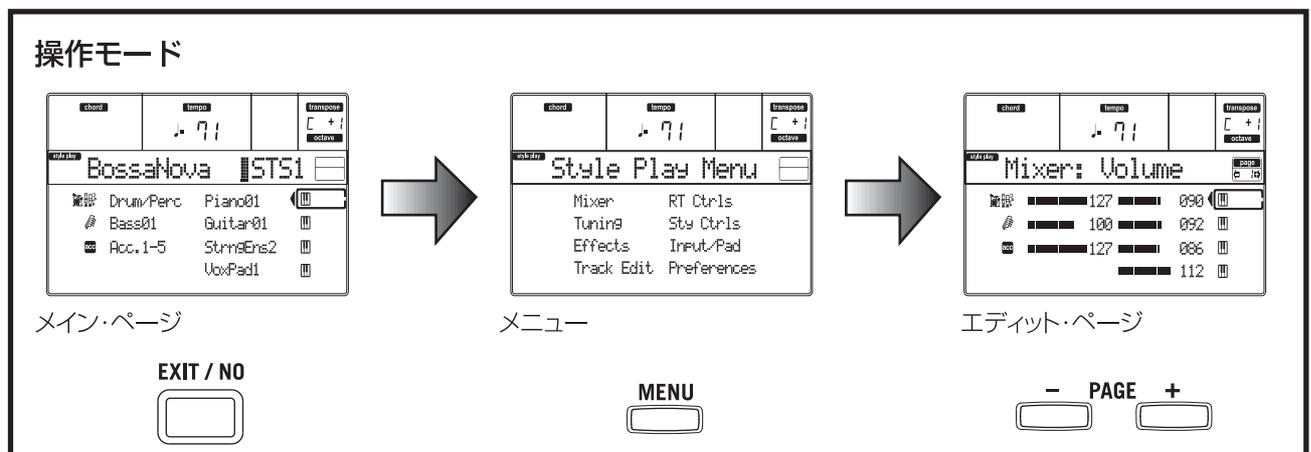
(下図を参照してください。)[GLOBAL]キーまたは[SD CARD]キーを押すと、現在の操作モードの上にエディット・モードの画面が表示されます。[EXIT/NO]キーを押すと、現在の操作モードに戻ります。

エディット・モードのインターフェースは、メニューと複数のエディット・ページから構成されています。[MENU]キーと[PAGE -/+ ]キーでエディット・ページ間を切り替えます。

**選択ウィンドウ**

STYLEセクション、またはPROGRAM/PERFORMANCEセクションの任意のキーを押すと、選択ウィンドウが開きます。ウィンドウ内の項目を選択するか、[EXIT/NO]キーを押すと、ウィンドウは閉じます。

ただし、[DISPLAY HOLD]キーのLEDが点灯している間は、項目を選択してもウィンドウは閉じません。[EXIT/NO]キーを押すとウィンドウが閉じ、ウィンドウの下に隠れていたページに戻ります。



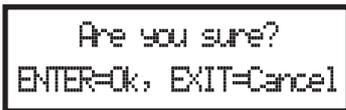
## メッセージ・ウィンドウ

エラーや誤操作を告げるメッセージが画面に表示されることがあります。



[ENTER/YES]キーか[EXIT/NO]キーを押すと、このウィンドウが閉じます。

また、下図のように「Are you sure?(よろしいですか?)」と回答を求めメッセージが表示されることもあります。



「はい」と答えるには[ENTER/YES]キーを、「いいえ」と答えるには[EXIT/NO]キーを押します。

## 記号とアイコン

カスタム画面に表示されるアイコンと記号は、パラメーターのステータスや画面内容を表示します。

-  リアルタイム(キーボード)・トラック(UPPER 1 ~ 3、LOWER)
-  ドラム・トラック(スタイル・トラック・ビュー)
-  パーカッション・トラック(スタイル・トラック・ビュー)
-  グループに入ったドラムとパーカッションのトラック
-  ベース・トラック(スタイル・トラック・ビュー)
-  グループに入った伴奏トラック。グループに入った5つの伴奏トラック(ACC 1 ~ 5)を表示します。
-  伴奏トラック(スタイル・トラック・ビュー)
-  シーケンサー・トラック
-  選択されたトラックまたはパラメーター。これが表示されているときは、その項目の編集ができます。
- (アイコンなし) 該当トラックがミュートされており、キーボード上で再生できません。

## グレー表示のパラメーター

現在使用できないパラメーターはグレー表示(文字がはっきり表示されない状態)となります。以下は、通常のパラメーター表示と、使用できないグレー表示のパラメーター例です。

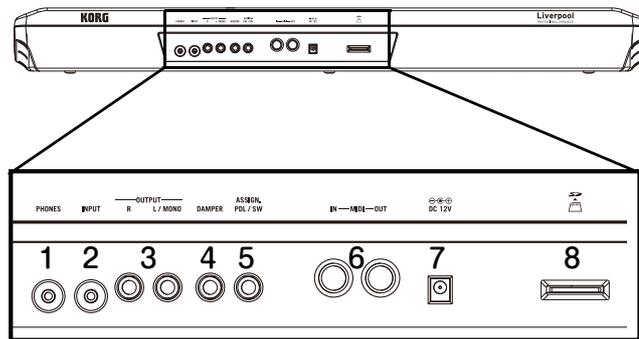
Bottom: G-1 Top: 08

明確な線で表示された文字

Bottom: G 1 Top: 00

グレー表示の文字

## 5. リア・パネル



### 1. [PHONES] ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続するステレオ・ミニ端子です。インピーダンスが16~200Ω(50Ω推奨)の範囲内のヘッドホンをお使いください。ヘッドホン・ディストリビューターを使うと、複数のヘッドホンが同時に使えます。

### 2. [INPUT] 入力端子

他のキーボード、シンセサイザー、パワードタイプではないミキサーの出力、CDプレーヤー、テープデッキなどを接続するステレオ・ミニ端子です。入力信号は自動的に本体スピーカーと、出力端子、ヘッドホン端子に送られます。

### 3. [OUTPUT] 出力端子

オーディオ信号をミキサーやPAシステム、パワード・モニター、ステレオ・システムに出力するアンバランス型端子です。出力レベルの調整は[MASTER VOLUME]スライダーを使います。

### 4. [DAMPER] ペダル端子

コルグPS-1、PS-3やDS-1Hのようなダンパー・ペダルを接続します。

### 5. [ASSIGN. PDL/SW] ペダル端子

コルグEXP-2やXVP-10(エクスペリション・ペダル)のようなコンティニューアス・タイプのペダルを接続します。

### 6. [MIDI] 端子

MIDI端子を介して、外部コントローラー(マスター・キーボード、MIDIギター、ウィンド・コントローラー、MIDIアコーディオン等)、拡張音源モジュール、シーケンサーやエディターを、起動させたPCに接続します。

**IN** コンピューターやコントローラーから、MIDI データを受信します。この端子を、外部コントローラーやコンピューターのMIDI OUT 端子に接続します。

**OUT** 本機のキーボード、コントローラー、シーケンサーで生成した MIDI データを送信します。この端子をエクパンダーやコンピューターのMIDI IN 端子に接続します。

### 7. [DC 12V] 端子

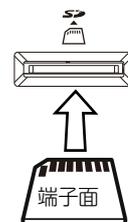
付属のACアダプターを接続します。

### 8. SDカード・スロット

SDカード(SDHCカードを含む)の挿入はカチッと音がしてロックされるまでカード・スロットに挿入してください。取り出すときは、SDカードを一度押し込むと、カードが外に出てきます。

**Note:** SDカードの取り扱いについては、SDカードに付属の取扱説明書をよくお読みください。

**Note:** SD カードは挿入方向や表裏に注意し、確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。



## 6. 基本操作

### キーボード上での演奏

まずは鍵盤を弾いてみましょう。

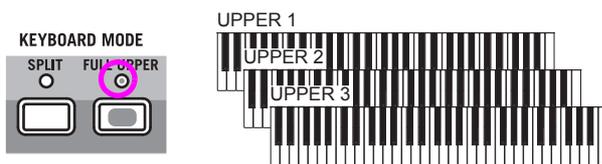
リアルタイム・トラックのサウンドが聞こえます。

リアルタイム・トラックは、UPPER 1~3、LOWERの4種類があり、同時にすべて演奏することも、ミュート設定によっては一部だけを演奏することもできます。トラックのサウンドが聞こえない場合は、そのパートのミュート設定を確認してください。

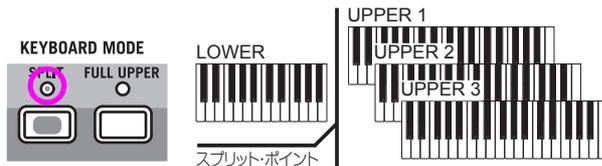
トラックの配置にはいろいろな方法があります。

KEYBOARD MODE セクションでは、キーボード上でトラックを配置する方法を選択します。

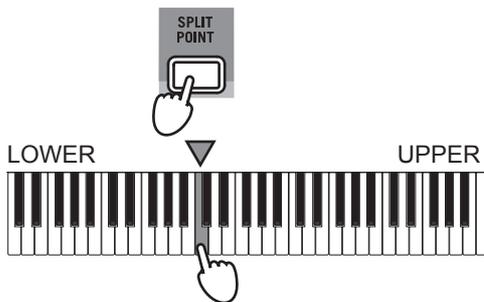
- [FULL UPPER]キーを押すと、鍵盤全域で UPPER 1~3のトラックが演奏できます。ピアノのように、**全鍵盤を同じ音色で弾く**ときは、[FULL UPPER]キーを押します。



- [SPLIT]キーを押すと、**スプリット・ポイント**より右側の鍵盤域で UPPER 1~3のトラックが、また左側の鍵盤域で LOWER トラックが演奏できます。



- [SPLIT POINT]キーを押しながら任意の鍵盤を1音弾くと、**弾いた鍵盤の位置がスプリット・ポイント**となり、鍵盤域が UPPER パートと LOWER パートに分かれます。



設定したスプリット・ポイントのノート(音名)を保存するには、[GLOBAL]キーを押してから[WRITE]キーを押して、メモリーにグローバル設定として保存します。

### トラックの選択、ミュート設定と解除、ソロ設定と解除

#### トラックの選択

VOLUME/VALUEキー[A]~[H]でトラックを選択します。



選択したトラックのアイコンが四角い枠で囲まれます。



選択したいトラックが現在画面に表示されていない場合は、[TRK.SELECT]キーでトラックのリストをスクロールして表示させます。



#### ミュート設定と解除

VOLUME/VALUEキー[A]~[H]でトラックのミュート設定、解除をします。たとえば、本機に電源を入れる则表示されるメインページで、UPPER 1トラックをミュートさせたいときは、[E]キー([UPPER 1/ACC2]キー)で、左右のキーを同時に押します。



ミュート/再生状態は画面にアイコンで表示されます。

- 再生状態: トラックをキーボード上で再生できます。
- (アイコンなし): ミュート状態: トラックはキーボード上で再生されません。

#### ソロ設定と解除

Style Play, Song Play, Songのいずれかのモードのとき、トラックの1つをソロ設定します。

[SHIFT]キーを押しながら、ソロ設定したいトラックに対応するVOLUME/VALUEキーで、左右のキーを同時に押します。

ソロ設定を解除するには、[SHIFT]キーを押しながら、ソロ設定したトラックに対応するVOLUME/VALUEキーで、左右のキーを同時に押します。

### パフォーマンスの選択

パフォーマンスは、プログラム一式とキーボード・トラック、スタイル・トラックの設定をセットにしたもので、複雑な設定の組み合わせを瞬時に呼び出せます。

[STYLE CHANGE]キーのLEDが点灯しているときは、パフォーマンスに別のスタイルを選択することもできます。

ソロ演奏しているときでも、プログラムではなくパフォーマンスを使うことをおすすめします。というのは、パフォーマンスを使えば、プログラム音色とともに適切なエフェクト、トランスポーズ設定、その他のパラメーターを選択できるからです。

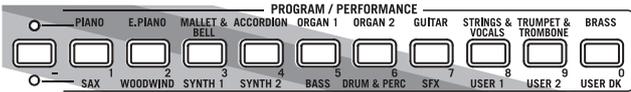
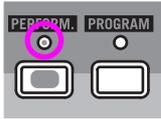
|             | データのタイプ                          | パラメーター   |
|-------------|----------------------------------|--|
| リアルタイム・トラック | UPPER 1, UPPER 2, UPPER 3, LOWER | Master Transpose, Program, Volume, Pan, Octave, Scale, Detune, Pitch Bend, Poly/Mono/Drum, Int/Ext, Damper, Dynamic Range, Joystick, C&D Effect Send level, Type, Pads, Parameters, Program parameters |

| データのタイプ   |   | パラメーター  |
|-----------|---|---|
| スタイル・トラック | DRUM, PERCUSSION, BASS, ACC1, ACC2, ACC3, ACC4, ACC5, | Program, Volume, Pan, Octave, Detune, Pitch Bend, Poly/Mono/Drum, Int/Ext, Wrap Around, Keyboard Range, A&B Effect Send level, Type, Parameters, Program parameters Drum Mapping, Kick&Snare Assignment |

その他のパフォーマンス・パラメーターはグローバルに保存されます。

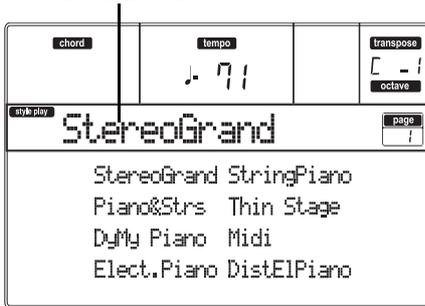
|       |   |
|-------|---|
| グローバル | Chord Recognition Mode, Memory Mode, Velocity Trigger, Lock |
|-------|---|

- [PERFORM.]キーを押します。  
PROGRAM/PERFORMANCE セクションでパフォーマンスを選択できるようになります。
- PROGRAM/PERFORMANCE セクションの一番左のキーを押して、10 個のバンク(1 ~ 10)の上の列を選択するか(上の列の LED が点灯)、下の列を選択します(下の列の LED が点灯)。
- [1]~[0]キーの1つを押して、選択したいパフォーマンスが入った PROGRAM/PERFORMANCE バンクを選択します。



パフォーマンス選択ウィンドウが表示されます。各バンクにはそれぞれ 8 つのパフォーマンスが入っています。

最後に選択したパフォーマンス



- VOLUME/VALUEキー[A]~[H]でパフォーマンスを選択します。
- [DISPLAY HOLD]キーのLED が点灯している場合は、[EXIT/NO]キーを押してこのウィンドウを閉じます。

### [STYLE CHANGE]キー

パフォーマンスを選択すると、[STYLE CHANGE]キーの状態によってはスタイルが変更されます。(パフォーマンスを保存すると、その時点でのスタイル・ナンバーが常に保存されます。)

- [STYLE CHANGE]キーのLED が点灯中は、パフォーマンスに保存されているスタイルが選択されます。
- [STYLE CHANGE]キーのLED が消灯中は、スタイルは変更されません。

### プログラムの選択

トラックが再生するプログラム(音色)を選択できます。プログラムを選択する前に、そのプログラムの割り当て先となるトラックを選択してください。

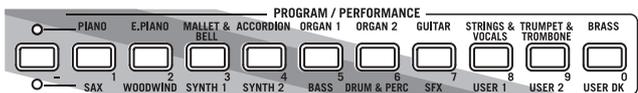
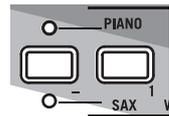
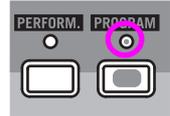
**Note:** スタイル・トラックに各種プログラムを割り当てるには、[TRK.SELECT]キーを押してスタイル・トラックを表示させます。グループに入ったトラック(ドラム / パーカッション、または ACC)が選択されているときにプログラムを選択すると、そのプログラムは最後に選択されたトラックに割り当てられます。

バリエーション、フィルなどのスタイル・エレメントにも異なるプログラムを割り当てられるので、別のスタイル・エレメントを選択すると、プログラムの選択内容が自動的にリセットされてしまうことがあります。

- 画面の右側にある VOLUME/VALUE キー[E]~[H]で、プログラムを割り当てる先のリアルタイム(キーボード)・トラックを選択します。



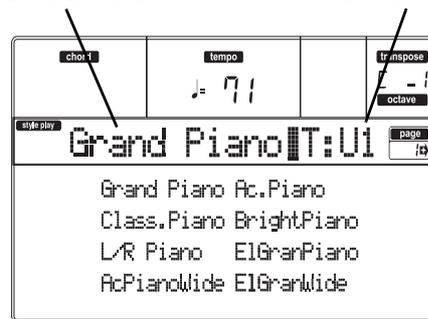
- [PROGRAM]キーを押します。  
PROGRAM/PERFORMANCE セクションのキーでプログラムが選択できるようになります。
- PROGRAM/PERFORMANCE セクションの一番左のキーを押して、プログラム・バンクの列(上列か下列)を選択します。
- 使用したいプログラムが入った PROGRAM/PERFORMANCE バンクを選択します。(プログラム・バンクの各キーには楽器名がラベル表示されています。)



プログラム選択ウィンドウが表示されます。

最後に選択したプログラム

選択トラック

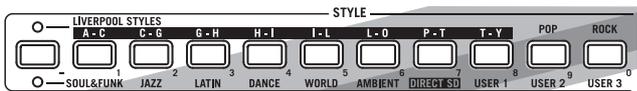


- 選択したバンクに入っている各プログラムを表示させるには、[PAGE - / +]キーを繰り返し押します。  
各バンクの画面ページは複数あり、それぞれ最高 8 個のプログラムが入っています。
- 使用したいプログラムを見つけたら、対応する VOLUME/VALUE キー[A]~[H]で選択します。
- [DISPLAY HOLD]キーのLED が点灯している場合は、[EXIT/NO]キーを押してウィンドウを閉じます。

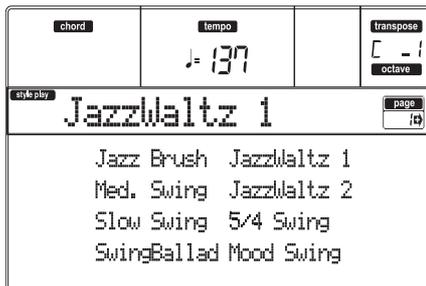
### スタイルの選択

スタイルとは、ドラム、パーカッションなどのリズム・パターンと、キーボードやリズムなどのバックグランドパターンをセットにしたものです。内蔵メモリーから選択するか、またはSDカードから直接選択することができます。

- STYLE セクションの一番左のキーを押して、スタイル・バンクの列(上列か下列)を選択します。
- 使用したいスタイルが入っているスタイル・バンクを選択します。



スタイル選択ウィンドウが表示されます。



- [PAGE - / +]キーを押してスタイル・ページを選択します。各バンクの画面は1または2ページあり、各ページ最大8個のスタイルが入っています。
- 使用したいスタイルを見つけたら、対応するVOLUME/VALUEキー[A]~[H]で選択します。  
**Note:** 新しいスタイルは次の強拍で入ります。
- [DISPLAY HOLD]キーのLEDが点灯している場合は、[EXIT/NO]キーを押してウィンドウを閉じます。

### [SINGLE TOUCH]キー

スタイルを選択すると、リアルタイム(キーボード)・トラックが変更される場合があります。

- [SINGLE TOUCH]キーのLEDが点灯中は、シングル・タッチ・セッティング(STS) #1 が自動選択され、リアルタイム・トラックが変更されます。キーボードに割り当てられたプログラムとキーボード・モードも変更される場合があります。
- [SINGLE TOUCH]キーのLEDが消灯中は、リアルタイム・トラックは変更されません。

### シングル・タッチ・セッティング(STS)の選択

シングル・タッチ・セッティング(STS)にはリアルタイム(キーボード)・トラックの設定が入っています。各スタイルには4種類のSTSがあり、画面の下にあるSINGLE TOUCH SETTING [F-1]~[F-4]キーを押して呼び出します。

**Note:** STS を選択できるのは、Style Play モードか Backing Sequence モードのメイン・ページが表示されているときのみです。

### キーボード・トラックの一括変更

キーボード・トラックに割り当てられたプログラムやエフェクトを、ワン・タッチで変更するには、パフォーマンスかシングル・タッチ・セッティング(Style Play モードのメイン・ページで、[F-1]~[F-4]キーを使用)を選択します。

### スタイル、パフォーマンス、プログラムの入った元のバンクを表示させるショートカット

現在使っているスタイル、パフォーマンス、プログラムが元々入っているバンクを簡単に表示できます。[SHIFT]キーを押しながらSTYLEセクション、またはPROGRAM/PERFORMANCEセクションの一番左のキーを押します。元のバンクの名前を表示したウィンドウが開きます。

[SHIFT]キーを離すとウィンドウが閉じます。

## 7. チュートリアル

それでは実際に手順を追って、基本的な操作をマスターしましょう。

### スタイルの演奏(自動伴奏)

スタイルは、バンドで自分が得意のソロを演奏するときの、残りのメンバーのような役割を持っています。本機には240種類のスタイルが入っています。

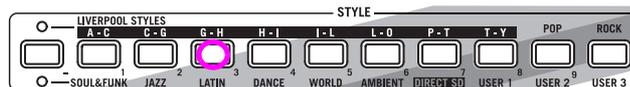
#### 1. 好みの音楽スタイルを選択します。

本機には豊富なスタイルが用意されていますが、ここではLIVERPOOL STYLESの“HelloGoodby”を選んでみましょう。

- STYLE セクションの一番左のキーを押して、キーの上にあるLEDを点灯させます。

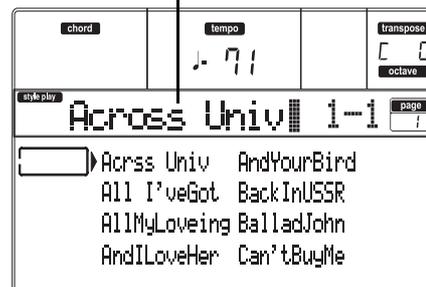


- 次に、[3] “G - H” キーを押します。



スタイル選択ウィンドウが表示されます。

現在選択中のスタイル

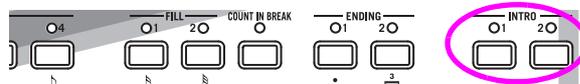


- VOLUME/VALUEキー[D]の左右どちらかのキーを押して、“HelloGoodby”を選択します。



#### 2. イントロを呼び出します。

スタイルを再生する前に、イントロを入れることができます。[INTRO1]キーが[INTRO2]キーを押します。イントロ1では、コードを考えずに弾いても、弾いた音に則したコード・チェンジが入ります。イントロ2はコードを意識して弾きます。



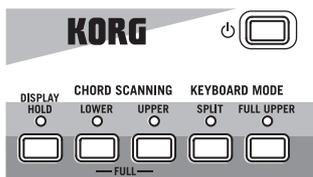
### 3. スタイルを再生します。

任意のコードを弾いて [START/STOP] キーを押します。



スタイル再生が始まります。

[SPLIT] キーのLEDが点灯中は、スプリット・ポイントより低い鍵盤域、つまり LOWER パートでコードが認識されます。コード・スキャンニング・モードが UPPER または FULL のときは、コードを認識させるために3つ以上のノートを弾く必要があります。



### 4. 好きなコードとメロディーを弾きます。

続けて弾いてください。本機にはたいへん優れたコード認識機能があることがわかるはず。認識されたコードが画面表示されます。

### 5. ブレイクやフィルを入れます。

演奏中にたとえば1小節のブレイクを入れることができます。

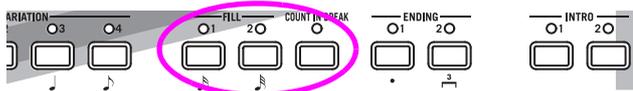
[BREAK] キーを押してください。

1小節分、演奏が止まり、また再開します。

今度は逆のことをやってみましょう。

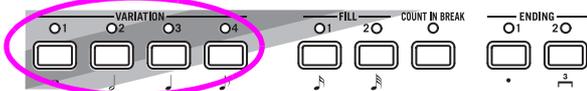
[FILL1] キーまたは [FILL2] キーを押します。

この場合は、無音部分がありません。奏者の代わりに本機が複雑なフレーズを弾いてくれます。フィル1は簡単なフィル、フィル2は、もう少し複雑です。バリエーション1,2(簡単なバリエーション)を使用中は、[FILL1] キーを、またバリエーション3,4(複雑なバリエーション)を使用中は [FILL 2] キーを押すといいでしょ。



### 6. 別のバリエーションを選択します。

4つの [VARIATION1~4] キーがあります。1つのスタイルに対して4種類のバリエーションがあります。全部試してみてください。



フィルの後にバリエーションに入ることができます。[FILL1] か [FILL2] キーを押したらすぐに、[VARIATION1~4] キーの1つを押します。

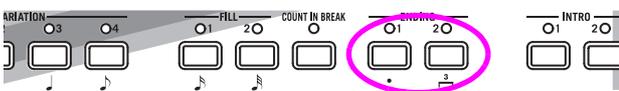
### 7. スタイル再生を停止します。

[START/STOP] キーを押すと、スタイル再生が停止します。

別の方法は、

[ENDING1] または [ENDING2] キーを押してください。

エンディングが再生され、スタイルの最後が彩りよく仕上がります。エンディング1はすでにプログラムされているフレーズが再生され、エンディング2はリアルタイムにコードを入れながら演奏する必要があります。



## シンクロ機能

両手で演奏しているときに、[START/STOP] キーなどを押す操作にわずらわされたくない、という人もいるでしょう。その場合 [SYNCHRO] キーを使います。

### 1. スタイル再生が停止している間に [SYNCHRO] キーを押します。

[SYNCHRO] キーの START LED が点滅し、シンクロ・スタート機能がオンになります。



### 2. 鍵盤上でコードを弾きます。

本機にコードを認識させるため、まずコードを弾いてください。通常はスプリット・ポイントの左側でコードが認識されますが、CHORD SCANNING セクションの設定によって異なります。(P.7 [CHORD SCANNING] セクション参照)

スタイルの再生が始まります。

### 3. 好きな方法でスタイルを止めます。

[START/STOP] キー、または [ENDING1] や [ENDING2] キーを押します。

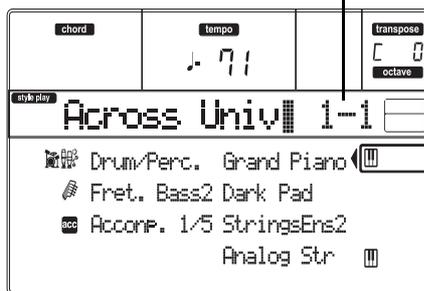
## リアルタイム演奏(自動伴奏なしの演奏)

本機は電源を入れると Style Play モードに入るので、すぐにリアルタイムで演奏ができます。

### 1. まずはキーボード上で演奏してみましょう。

電源を入れると、パフォーマンス1-1が自動選択されます。

パフォーマンス・バンクと番号



これでリアルタイム(キーボード)・トラックが設定されます。

このパフォーマンスがまだエディットされていないければ、鍵盤全域に UPPER 1 トラックが割り当てられ、グランドピアノのプログラムが選択されます。

4つのリアルタイム・トラック (UPPER 1~3とLOWER) が使用できます。

UPPER トラックは鍵盤全域で演奏できます (KEYBOARD MODE セクションで [FULL UPPER] キーを押して選択してある場合)。または、LOWER トラックがスプリット・ポイントより左の鍵盤、UPPER トラックが右の鍵盤で演奏されます (KEYBOARD MODE セクションで [SPLIT] キーを押して選択してある場合)。

この最初のセットアップを変えたい場合は、別のパフォーマンスを選択するか、本章で後述するようにトラックの設定を変更し、その設定をパフォーマンス1-1に保存します。

## 2. 別のパフォーマンスを選択します。

[PERFORM.]キーを押してLEDを点灯します。

点灯している場合は、PROGRAM/  
PERFORMANCEセクションの任意のキーを押  
し、画面の横にあるVOLUME/VALUEキー  
[A]～[H]でパフォーマンスを選択します。



VOLUME/VALUE キー [A]～[H]でパフォーマンスを選択

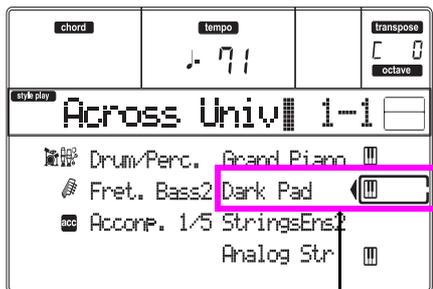
別のパフォーマンスを試してみましょう。全部で160のパフォーマンス  
があります。

## 3. パフォーマンス 1-1(“StereoGrand”)をもう1度選択 します。

上記の要領で、パフォーマンス・バンク[1]キーを押してから、  
VOLUME/VALUEキーでパフォーマンス1-1を選択します。

## 4. UPPER 2トラックのミュートを解除します。

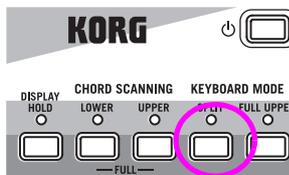
VOLUME/VALUEキー[F]で、左右のキーを同時  
に押します。UPPER 2トラックが選択され、  
ミュートが解除されます。再生アイコンが表示さ  
れ、選択トラックを示す枠で囲まれ、矢印が付き  
ます。“Dark Pad”プログラムと“Grand Piano”が重なったサウン  
ドになります。



VOLUME/VALUE キー [F]を押す

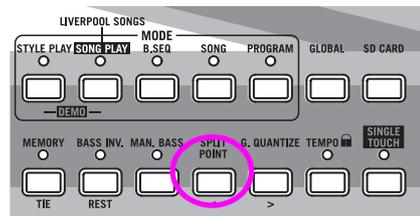
## 5. KEYBOARD MODE セクションで[SPLIT]キーを押して 演奏します。

これで鍵盤領域がLOWERパート(左  
側)とUPPERパート(右側)に分割さ  
れました。LOWERパートでは  
“AnalogStr”プログラムの音色、  
UPPERパートでは“Grand  
Piano”と“Dark Pad”の音色が  
聞こえます。



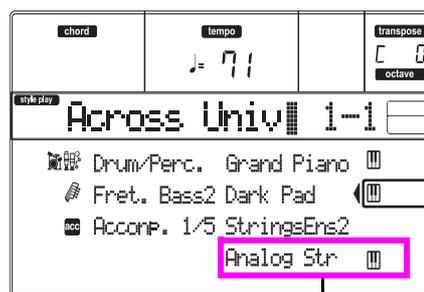
## 6. スプリット・ポイントを変更します。

現在のスプリット・ポイントを変更したい場合は、[SPLIT POINT]キー  
を押しながら、希望のスプリット・ポイントに該当する鍵盤を弾きます。  
この設定はメモリーに保存できます。



## 7. 各トラックをミュート設定 / 解除します。

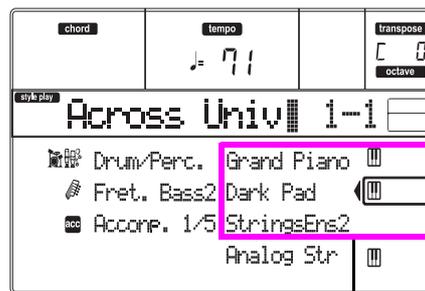
VOLUME/VALUEキー[H]で、左右のキーを同時に押すと、LOWER  
トラックがミュートされます。



VOLUME/VALUE キー [H]を押す

もう1度左右のキーを同時に押すと、LOWERトラックのミュートが解除  
されます。

UPPERトラックのミュート設定も試してみましょう。VOLUME/  
VALUEキー[E]～[G]で、左右のキーを同時に押します。ミュート設定  
または解除したトラックの数によっては、サウンドが厚く豊かになっ  
たり薄くなったりします。



VOLUME/VALUE キー [E]～[G]を押す

## 8. リアルタイム・トラックの相対的な音量レベルを設定します。

リアルタイム・トラックの音量を設定するには、VOLUME/VALUEキー  
[E]～[H]を使います。まず、VOLUME/VALUEキーで任意のキーを押  
してトラックを選択します。次に、左右のキーのうち、右のキーを押すと  
音量が大きくなり、左のキーを押すと音量が小さくなります。

左のキーで音量減少



右のキーで音量増加

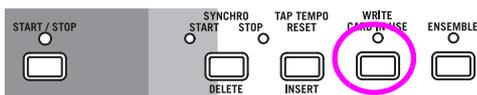
### 9. KEYBOARD MODE セクションで[FULL UPPER]キーを押します。



これで鍵盤全域でUPPERトラックが演奏できます。

### 10. パフォーマンスにリアルタイム・トラックの設定を保存します。

希望のサウンドになったら、[WRITE]キーを押してパフォーマンス、シングル・タッチ・セッティング(STS)、またはスタイル・パフォーマンスにトラック設定を保存します。リアルタイム・トラックの保存にはパフォーマンスが便利です。

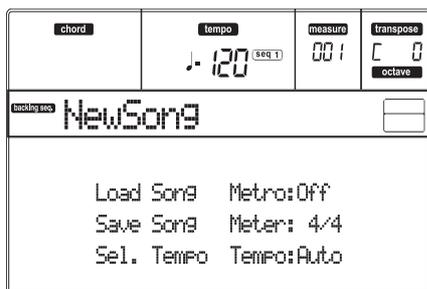


## ソングの録音 (スタイルとリアルタイム演奏を同時に録音)

Backing SequenceモードではStyle Playモードの機能を最大限に利用して、新しいソングを簡単、効率的に録音できます。レコーダーをセットしてスタイル再生と一緒にライブ演奏すれば、ソングが瞬間にできあがります。

#### 1. Backing Sequence モードに入ります。

[B.SEQ]キーを押してBacking Sequenceモードに入ります。リアルタイム・トラックは、Style Playモードで選択したまま変わっていません。



これがバックング・シーケンスのプレイ・ページで、ソングをロード、プレイ、保存するところです。

#### 2. [RECORD]キーを押します。

リアルタイム・レコーディング・モード(Realtime Recording)かコード/伴奏ステップ・モード(Chord/Acc Step Mode)を選択する画面に変わります。



#### 3. リアルタイム・レコーディング・モード(Realtime Recording)を選択します。

VOLUME/VALUEキー[A]で、左右どちらかのキーを押します。レコード(Rec)ページが表示されます。



#### 4. 選択したスタイルが現在のバックング・トラックには合わないと思ったら、別のスタイルを選択します。

スタイルの選択の簡単な手順は、以下のとおりです(詳しくはP.13「スタイルの選択」参照)。

1. STYLE セクションの一番左のキーを押して、スタイル・バンクの列(上列か下列)を選択します。
2. STYLE セクションのキーを押してスタイル・バンクを選択します。
3. [PAGE - / +]キーを押してスタイル・ページを選択します。
4. VOLUME/VALUE キー[A]~[H]で、希望のスタイルを選択します。スタイル・バンク名とバンク・ナンバーが画面上のスタイル・パラメーターの後に表示されます。
5. パフォーマンスやシングル・タッチ・セッティングを必要に応じて変更します。

パフォーマンスのエディット方法の簡単な手順は、以下のとおりです(P.12「パフォーマンスの選択」およびP.14「シングル・タッチ・セッティング(STS)の選択」参照)。

1. [PERFORM.]キーを押します。  
PROGRAM/PERFORMANCE セクションのキーでパフォーマンスを選択できるようになります。
2. PROGRAM/PERFORMANCE セクションのキーを押して、パフォーマンス・バンクを選択します。
3. VOLUME/VALUE キー[A]~[H]で、パフォーマンスを選択します。シングル・タッチ・セッティング(STS)を選択するには:
  - SINGLE TOUCH SETTING セクションのキーの1つを押します。

#### 6. 録音を開始しましょう。

画面を見てわかるように、RT(リアルタイム・トラック)とCh/Acc(コード/伴奏トラック)が両方ともREC、つまり録音モードになっています。これは、スタイルとともにリアルタイムで演奏する内容がすべて録音される、ということです。

#### [START/STOP]キーを押します。

カウント・ダウンが始まり第1小節に入ったら、演奏を始めます。

#### 7. ライブ演奏の要領で弾きます。

スタイルを再生しながら弾いているときとまったく同じ操作ができます。別のスタイル、パフォーマンス、STS、別のバリエーション、フィル、エンディングなどを必要に応じて選択します。

イントロから録音することもできます。その場合は、[START/STOP]キーを押して録音を開始する前に、どちらかの[INTRO]キーを押してください。

## 8. ソングを止めます。

ソングを止めるには、[START/STOP]キーを押すか、どちらかの[ENDING]キーを押します。ソングは止まりますが、録音はまだ続いています。このため、別のソングをそのまま続けて録音することもできます。(ステップ6から繰り返してください。)

録音を終了するには、次のステップへ進んでください。

## 9. 録音を終了します。

SEQUENCER1 セクションの[PLAY/STOP]キーを押します。バックキング・シーケンスのプレイ・ページが表示され、録音状態が解除されます。バックキング・シーケンス・トラック (RT と Ch/Acc) が再生状態 (PLAY) に戻ります。

## 10. 録音したソングを聴いてみましょう。

バックキング・シーケンスのプレイ・ページで、SEQUENCER1 セクションの[PLAY/STOP]キーを押すと、新しいソングが再生されます。

録音したソングに満足したら、Song モードに切り替えて編集したり、以下の要領で保存し、Song Playモードで再生したりします。

## 11. 録音したソングのトラックの1つを削除して録音し直したり、曲全体を録り直したい場合は？

1. [RECORD]キーを押して録音モードに入ります。

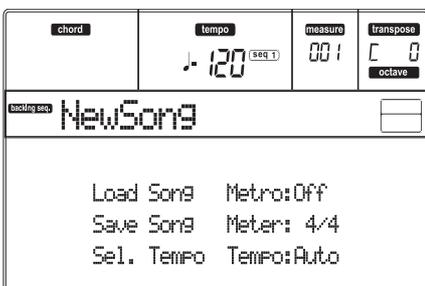


2. 削除して録り直したいトラックを REC に設定します。
3. 録音中にモニターしたいトラックを PLAY に設定します。削除しないけれどモニターもしないトラックは、MUTE に設定します。
4. 録音を開始します。RT (リアルタイム・トラック) を録音する場合は、スタイルのコントロール類は使えません。
5. SEQUENCER1 セクションの[PLAY/STOP]キーを押してソングを終了し Back Sequence モードのプレイ・ページに戻ります。

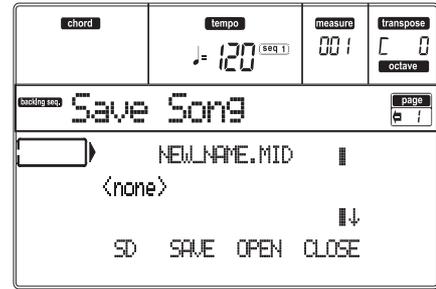
## 12. ソングを保存します。

ソングを保存しないと、本機の電源を切ったとき、またはSong Playモードに切り替えたときに、ソングは消去されてしまいます。とっておきたいソングは、必ずSDカードに保存してください。

1. SD カードをカード・スロットに挿入します。
2. バックキング・シーケンスのプレイ・ページで、“Save Song” パラメーターを選択します。



3. [F-1]キーを押して SD カード (SD) を選択します。



4. VOLUME/VALUE キー [E], [F] (上へスクロール) または [G], [H] (下へスクロール)、あるいは TEMPO/VALUE セクションのダイヤル、[DOWN/ -] キーまたは [UP/ +] キーを使用して、ソングを保存する先のフォルダを画面の一行目に移動します。[F-3] (OPEN) キーを押すとフォルダが開き、[F-4] (CLOSE) キーを押すとフォルダが閉じます。
5. 新規ファイルを作成するので、「NEW\_NAME.MID」というファイル名を画面の一行目に移動します。
6. 「NEW\_NAME.MID」を選択した場合は、VOLUME/VALUE キー [A] で、左右どちらかのキーを押します。新しいファイルに名前をつけるよう、表示が出ます。

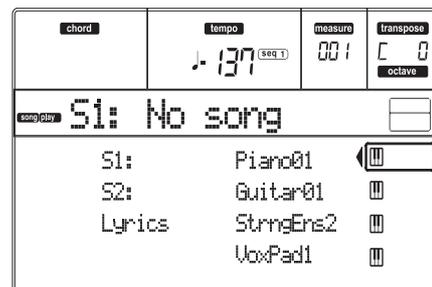
NEW\_NAME.MID

[DOWN/ -]、[UP/ +] キーでカーソルを移動し、ダイヤルで文字を選択します。[INSERT] キーを押すとカーソル位置で文字が挿入され、[DELETE] キーを押すとカーソル位置の文字が削除されます。

7. 新しいMIDIファイルに名前を付けたら、[F-2] (SAVE) キーを押して確定します。「Are you sure? (よろしいですか?)」というメッセージが表示されるので、[ENTER/YES] キーを押して確定するか、[EXIT/NO] キーで中止します。

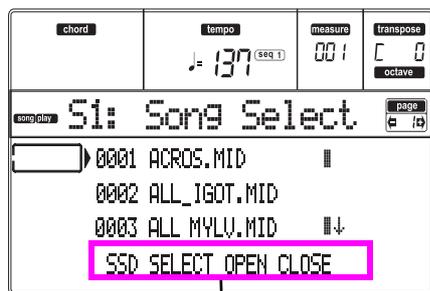
## ソングの再生

1. 内蔵メモリー (SSD) 内のソングを選ぶときはそのまま、SD カードに入れたソングを選ぶときは SD カードをカード・スロットに挿入します。
2. [SONG PLAY] キーを押して Song Playモードに入ります。



3. VOLUME/VALUE キー[A] (S1: に該当)を押して、ソング  
選択(Song Selection)ウィンドウを開きます。

内蔵メモリー(SSD)内のソングが表示されます。



ページ・コマンド

**Note:** メイン・ページから[PAGE +]キーを押して、ソング選択ウィンドウを表示することもできます。ウィンドウを閉じるには、[EXIT/NO]キーか[PAGE -]キーを押します。

4. SD カード内のソングを選ぶときは[F-1]キーを押して SD  
カード(SD)を選択します。

SD カードの内容が表示されます。

5. TEMPO/VALUE セクションのダイヤル、[DOWN/ -]  
キーまたは[UP/ +]キー、または VOLUME/VALUE キー  
[E]~[H]を使って、リストをスクロールし、希望のファイ  
ルを画面の一行目に移動します。

VOLUME/VALUE キー[E]~[F]を押すとリストが上へスクロール、VOLUME/VALUE キー[G]~[H]を押すとリストが下へスクロールします。

6. 希望のファイルがフォルダに入っている場合は(名前の先頭に  
□が表示されているファイル)、フォルダを一行目に移  
動してから、[F-3]キーで OPEN コマンドを選択します。



フォルダを閉じて1つ上の階層に戻るには、[F-4]キーでCLOSEコマンドを選択します。

7. 希望のファイルを画面の一行目に移動させたら、[F-2]キー  
で SELECT コマンドを選択します。

8. Song Play モードのメイン・ページで S1: の行にソングが  
表示されたら、SEQUENCER 1 セクションの[PLAY/  
STOP]キーを押すと再生が始まります。



**Note:** [BALANCE]スライダーが右端に設定されていると、シーケンサー1の音量が最小になり、音が聞こえません。

シーケンサー2で別のソングを同時再生するには、VOLUME/VALUE キー[B] (S2: に該当)を押します(シーケンサー2のソングをすでに選択してある場合は、このキーを2度押します)。

上記と同じ要領でシーケンサー2のソングを選択します。

SEQUENCER 2セクションの[PLAY/STOP]キーを押すと、シーケンサー2のソングの再生が始まります。

[BALANCE]スライダーで、シーケンサー1と2のソングのミックス・バランスを調整します。

SEQUENCER 1と2セクションの[PLAY/STOP]キーをそれぞれ押してソング再生を止めます。

## 8. 主な仕様

### 使用温度条件

0~40℃(結露させないこと)

### 鍵盤部

61鍵盤C2~C7 ナチュラル・タッチ・ミニ鍵盤(ペロシティ対応)

### 電源

付属ACアダプター DC12V

### 外形寸法(幅 × 奥行き × 高さ)

873×277×91mm

### 質量

4.2kg

### 消費電力

9W

### 付属品

ACアダプター(DC12V: ⊖ ⊕)、ACアダプター用電源コード、譜面立て、クイック・スタート・ガイド、アクセサリー・ディスク

### オプション

XVP-10: エクスプレッション/ボリューム・ペダル

EXP-2: フット・コントローラー

DS-1H: ダンパー・ペダル

PS-1、PS-3: ペダル・スイッチ

## 内蔵ソング

| No. | Song name                         | File name | No. | Song name                             | File name |
|-----|-----------------------------------|-----------|-----|---------------------------------------|-----------|
| 1   | Across the Universe               | ACROSS    | 51  | I Will                                | I_WILL    |
| 2   | All I've got to do                | ALL_IGOT  | 52  | Julia                                 | JULIA     |
| 3   | All My Loving                     | ALL_MYLV  | 53  | Lady Madonna                          | LADY_MAD  |
| 4   | All You Need is Love              | ALL_YOUN  | 54  | Let It Be                             | LETITBE   |
| 5   | And I Love Her                    | AND_ILOV  | 55  | The Long And Winding Road             | LONGWIND  |
| 6   | And Your Bird Can Sing            | AND_YOUR  | 56  | Lovely Rita                           | LOVELY    |
| 7   | Back in the USSR                  | BACK_IN   | 57  | Lucy In The Sky With Diamonds         | LUCY_IN   |
| 8   | The Ballad Of John And Yoko       | BALLADJY  | 58  | Magical Mystery Tour                  | MAGICAL   |
| 9   | Because                           | BECAUSE   | 59  | Martha My Dear                        | MARTHA    |
| 10  | Being For The Benefit Of Mr. Kite | BEINGFOR  | 60  | Maxwell's Silver Hammer               | MAXWELLS  |
| 11  | Blackbird                         | BLACKBRD  | 61  | Michelle                              | MICHELLE  |
| 12  | Can't Buy Me Love                 | CANT_BUY  | 62  | Mother Nature's Son                   | MOTHER    |
| 13  | Carry That Weight                 | CARRY_TH  | 63  | The Night Before                      | NIGHTBEF  |
| 14  | Come Together                     | COME_TOG  | 64  | No Reply                              | NOREPLY   |
| 15  | A Day In The Life                 | DAY_IN    | 65  | Norwegian Wood (This Bird Has Flown)  | NORWEGIA  |
| 16  | Day Tripper                       | DAY_TRIP  | 66  | Nowhere Man                           | NOWHERE   |
| 17  | Dear Prudence                     | DEARPRUD  | 67  | Ob-La-Di, Ob-La-Da                    | OB_LA_DI  |
| 18  | Don't Let Me Down                 | DONT_LET  | 68  | Oh! Darling                           | OHDARLIN  |
| 19  | Drive My Car                      | DRIVE_MY  | 69  | One After 909                         | ONEAFTER  |
| 20  | Eight Days A Week                 | EIGHTDAY  | 70  | Paperback Writer                      | PAPERBAK  |
| 21  | Eleanor Rigby                     | ELEANOR   | 71  | Penny Lane                            | PENNY     |
| 22  | Fixing A Hole                     | FIXING_A  | 72  | Rain                                  | RAIN      |
| 23  | The Fool On The Hill              | FOOL_ON   | 73  | Revolution                            | REVOLUTI  |
| 24  | For No One                        | FORNOONE  | 74  | Rocky Raccoon                         | ROCKYRAC  |
| 25  | Getting Better                    | GETTING   | 75  | Sexy Sadie                            | SEXYSAADI |
| 26  | Get Back                          | GET_BACK  | 76  | Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Band | SGT_PEPP  |
| 27  | Girl                              | GIRL      | 77  | She's a woman                         | SHEWOMAN  |
| 28  | Golden Slumbers                   | GOLDEN    | 78  | She Came In Through The Bathroom      | SHE_CAME  |
| 29  | Good Night                        | GOODNITE  | 79  | She's Leaving Home                    | SHE_LEAV  |
| 30  | Got To Get You Into My Life       | GOTTOGET  | 80  | She Said, She Said                    | SHE_SAID  |
| 31  | Happiness Is A Warm Gun           | HAPPINES  | 81  | Strawberry Fields Forever             | STRAWBER  |
| 32  | A Hard Day's Night                | HARDDAYS  | 82  | Sun King                              | SUN_KING  |
| 33  | Hello, Goodbye                    | HELLO_GB  | 83  | Tell Me Why                           | TELLME_Y  |
| 34  | Help!                             | HELP      | 84  | The Word                              | THE_WORD  |
| 35  | Helter Skelter                    | HELTERSK  | 85  | Things We Said Today                  | THINGSWE  |
| 36  | Here, There And Everywhere        | HERETHER  | 86  | Ticket To Ride                        | TICKETTO  |
| 37  | Hey Bulldog                       | HEYBULLD  | 87  | Tomorrow Never Knows                  | TOMORROW  |
| 38  | Hey Jude                          | HEYJUDE   | 88  | Two of us                             | TWO_OFUS  |
| 39  | Honey Pie                         | HONEYPIE  | 89  | Wait                                  | WAIT      |
| 40  | I Am The Walrus                   | IAM_WLR   | 90  | We Can Work It Out                    | WECANWRK  |
| 41  | I Feel Fine                       | IFEELFIN  | 91  | When I'm Sixty-Four                   | WHENIMSX  |
| 42  | If I Fell                         | IF_IFELL  | 92  | With A Little Help From My Friends    | WITHALIT  |
| 43  | I'm So Tired                      | IMSOTIRE  | 93  | Yellow Submarine                      | YELLOWSU  |
| 44  | I'm Down                          | IM_DOWN   | 94  | Yer Blues                             | YERBLUES  |
| 45  | In My Life                        | INMYLIFE  | 95  | Yesterday                             | YESTERDY  |
| 46  | I Should Have Known Better        | ISHOULD   | 96  | You Never Give Me Your Money          | YOU NEVER |
| 47  | It Won't Be Long                  | ITWONTBE  | 97  | You're Going To Lose that Girl        | YOURGOIN  |
| 48  | I've Got a Feeling                | IVE_GOTA  | 98  | Your Mother Should Know               | YOURMOTH  |
| 49  | I've Just Seen a Face             | IVE_JUST  | 99  | You've Got To Hide Your Love Away     | YOUVEGOT  |
| 50  | I Want You (She's So Heavy)       | IWANTYOU  | 100 | You Can't Do That                     | YOU_CANT  |

All Songs are written by John Lennon, Paul McCartney.

Copyright © Sony/ATV Music Publishing LLC All Rights Reserved.

## 保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類(ヘッドホンなど)は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はご購入日より1ケ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有料となります。
  - ・ 消耗部品(電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど)の交換。
  - ・ お取り扱い方法が不適当のために生じた故障。
  - ・ 天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
  - ・ 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
  - ・ 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
  - ・ 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
  - ・ 本保証書の提示がない場合。

尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きおしいただけます。詳しくは、お客様相談窓口までお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめお客様相談窓口へご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### ■ お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

コルグLiverpool

### 保証書

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するものです。

お買い上げ日 年 月 日

販売店名

## アフターサービス

### ■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。

お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。

なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

### ■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

### ■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

### ■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品(電子回路など)のように機能維持のために必要な部品の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品(パネルなど)の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお客様相談窓口へお問い合わせください。

### ■ 修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みの方え、もう一度ご確認ください。

それでも異常があるときは、お客様相談窓口へお問い合わせください。

### ■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

### ■ ご質問、ご相談について

修理および商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

### WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です  
This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

お客様相談窓口  0570-666-569

PHS等一部の電話ではご利用できません。固定電話または携帯電話からおかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (祝祭日、窓口休業日を除く)

● サービス・センター: 〒168-0073

東京都杉並区下高井戸 1-15-12

**KORG** 株式会社コルグ

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2

© 2015 KORG INC.

www.korg.com